

平成25年度 事務事業評価 施策別総括表

【施策番号:411 施策名:ふるさとのみどりを保全し、新たなみどりをつくる】

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				総合評価理由	前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課	
													成果	効率性	必要性	総合評価						
1	緑化推進事務	区内に残された貴重な樹林地などを保全し、後世にみどりを継承する。	成果指標	樹林地所有者との新規協案件数	実績	実績	目標	目標	AB	A	非該当	A	A	A	A	みどり施策の取り組みの総合的な指標としては緑被率があげられる(5年毎の調査のため成果指標にはしていない)が、区では、将来区内の緑被率を30%にすることを旨とした「みどり30推進計画」に基づき、さまざまな事業を実施し、最新の調査(平成23年度)では25.4%と23区では一番高い結果となっている。一方で5年前(平成18年度)の結果と比べると0.7ポイントの減少となり、5か年の取り組みによる課題等を踏まえた新たな事業計画を策定した。今後は、この事業計画の着実な実行が求められる。	A	特別緑地保全地区制度について、国との協議に引き続き他の自治体と課題を共有し、国、都とも引き続き協議する。 また、みどり30推進計画の推進のため、昨年策定した第二期事業計画の新たな施策体系に基づき事業内容を整理し、進行管理を行う。	B	みどり推進課		
					達成率	達成率	1	1													1	1
			経費	投入経費	千円	56,873	36,588	64,545														
				上記のうち人件費	千円	24,000	19,520	26,240														
2	憩いの森等事務	樹林地を所有者から借り受け、区民に開放するため	成果指標	憩いの森、街かどの森の新規開設数	実績	実績	目標	目標	D	B	非該当	B	A	A	A	樹林地の保存は練馬のみどりを守る手段として大変重要である。この事業は民のみどりを守りながら無償貸借契約により区民に開放することができるという成果をあげている。今後も憩いの森の適正管理をすることにより樹林地の保存に努めていく。	B	練馬みどりの機構の憩いの森管理運営委託箇所数を増やす	B	みどり推進課		
					達成率	達成率	1	0													5	5
			経費	投入経費	千円	76,308	63,591	63,136														
				上記のうち人件費	千円	7,200	11,840	10,240														
3	公園新設事務	みどりと水の拠点となる新しい公園等を整備し、みどりと水のネットワークの構築を推進するため	成果指標	区立公園および緑地の新規整備面積(1公園新設事務によるもの)	実績	実績	目標	目標	ABC	B	該当	A	A	A	A	計画に沿って着実に進めており、みどりの拠点となる公園の整備が進んでいる。	A	大規模公園の工事が予定通り円滑に進むよう、関係者間の調整を充分に図る。 整備内容について、引き続き、区民意見を聞く機会を規模などに応じてより丁寧に設け、区民がさらに満足する公園づくりを行う。	B	計画課		
					達成率	達成率	16,899	1,506													47,000	3,000
			経費	投入経費	千円	5,457,987	703,672	2,010,903														
				上記のうち人件費	千円	41,600	37,280	26,080														
4	公園改修事務	地域におけるみどりやレクリエーションの拠点としての機能を向上させ、安全・安心に利用できる公園とするため	成果指標	改修を完了した公園数	実績	実績	目標	目標	AB	B	非該当	A	-	A	B	現在、改修事業は休止しているが、今後取り組んでいくものである。 今後の取組みにおいては、公園の利用者からの意見等を十分に聴取し、具体的な区民ニーズにあった公園として改修し高い成果をあげていくことを目指す。 また、全面的改修を行わない公園についても、公園施設の長寿命化計画に沿って、効率的な施設の更新を行っていく。	-	休止中 長期計画に基づき、千川上水緑道の改修を行うため、平成26年度に設計等に着手する予定。	E	計画課		
					達成率	達成率	0	0														0
			経費	投入経費	千円	0	15,054	0														
				上記のうち人件費	千円	0	1,840	0														

平成25年度 事務事業評価 施策別総括表

【施策番号:411 施策名:ふるさとのみどりを保全し、新たなみどりをつくる】

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課
													成果	効率性	必要性	総合評価				
5	公園等維持管理事務(公園の維持管理)	区民等が安全かつ快適に公園を利用できるようにするため	成果指標	公園の管理に必要な補修箇所数に対する補修工事実施箇所数の割合	%	実績	実績	目標	目標	D	B	該当	A	A	A	A	公園等の維持管理は、効率性、必要性を満たし十分な成果をあげている。	-	B	道路公園課
						達成率	達成率													
			100	100	100	100														
			100	100																
経費	投入経費	千円	1,182,232	1,217,948	1,131,498															
		上記のうち人件費	千円	120,000	140,720	124,880														
6	自然環境調査等事務	みどり豊かな練馬区の象徴であったホタルの姿を取り戻し、自然の大切さを広く伝えるため。また、生物多様性保全の場をつくるため。	成果指標	育成活動等の活動回数	回	実績	実績	目標	目標	AC	B	該当	B	A	A	A	~ により、事業は良好に進んでいる。	A	B	みどり推進課
						達成率	達成率													
					5															
			%	%																
経費	投入経費	千円	21,603	12,094	52,417															
		上記のうち人件費	千円	8,000	5,120	5,040														
7	花とみどりの相談所等事務(土支田農業公園)	練馬の農風景の保全と、区民が土に親しみ農業が体験できる場を提供することでみどりに関する意識の向上を図るため	成果指標	満足度(講習内容を満足と感じた講習生/講習生)	%	実績	実績	目標	目標	D	B	非該当	A	B1	A	B	満足度の高い事業であり、良好に進んでいる。ただし、他事業との整合性をはかる必要がある。	-	B	みどり推進課
						達成率	達成率													
			95.6	97.0	95	95														
			100.6	102.1																
経費	投入経費	千円	17,688	13,485	17,422															
		上記のうち人件費	千円	5,600	2,640	4,960														
8	保護樹木等の調査および管理事務(保護樹木の管理)	保護樹木・保護樹林を指定し、保護に努めるため	成果指標	保護樹木新規指定数	本	実績	実績	目標	目標	A	B	非該当	B	B2	A	B	練馬のみどりを守るため保護樹木等の事業は必要であるが、支援の方法については検討をする必要がある。	B	B	みどり推進課
						達成率	達成率													
			45	3	25	25														
			180.0	12.0																
経費	投入経費	千円	38,305	27,704	49,775															
		上記のうち人件費	千円	4,000	6,800	11,120														

平成25年度 事務事業評価 施策別総括表

【施策番号:411 施策名:ふるさとのみどりを保全し、新たなみどりをつくる】

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課	
												成果	効率性	必要性	総合評価					総合評価理由
9	緑化推進事務 (開発指導)	既存のみどりの 保全や失われた みどりの回復を 図るため	成果 指標	練馬区みどりを 愛し守りはくむ 条例による緑化 基準に適合する よう指導を行い 実施できた割合		実績	実績	目標	目標	D	A	非 該 当	A	A	A	A	まちづくりにおけるみどりの減少を抑制しつ つ、官民一体となって区内のみどりを維持し、 増加させる成果をあげている。	B	開発調 整課	
					達成率	達成率														
			%	100	100	100														
			%	100	100															
経費	投入経費	千円	12,800	8,000	10,160															
		上記のうち 人件費	千円	12,800	8,000	10,160														
10	施設緑化事務 (民間施設)	みどり豊かで潤 いのある街並み を形成するため	成果 指標	生け垣・屋上 緑化・壁面緑 化助成事業 の延べ利用者 数		実績	実績	目標	目標	AB	B	非 該 当	B	A	A	B	目標数の達成には至らなかったが、区民の 関心も高く、需要が有り良好に進んでいる。	B	みど り推 進課	
					達成率	達成率														
			人	40	42	60	60													
			%	66.7	70.0															
経費	投入経費	千円	23,048	26,212	41,772															
		上記のうち 人件費	千円	8,000	13,040	17,120														
11	施設緑化事務 (公共施設)	公共施設のみど りを保全するた め	成果 指標	樹木管理か所 数		実績	実績	目標	目標	A	B	該 当	A	B1	A	B	公共施設の樹木を良好な状態に保つことが でき、施設の緑化に貢献することができた。な お、施設管理者と樹木管理者が分かれている ことにより非効率となっているので、一体管理 を検討する必要がある。	B	みど り推 進課	
					達成率	達成率														
			か所	170	173	170	170													
			%	100.0	101.8															
経費	投入経費	千円	44,118	55,326	59,520															
		上記のうち 人件費	千円	8,800	12,240	8,160														
12	緑化樹木育成 事務	苗木を育成し、公 共施設等で有効 に活用するため	成果 指標	活用された樹 木本数		実績	実績	目標	目標	D	B	非 該 当	B	B1	A	B	公共施設の緑化のための仮置き場、育成地 としての役割は果たしており、公共施設で活用 することができた。事業の需要量に対して、樹 木育成場の設置数が多いので目的の割に維持 管理のコストが高くなってしまった。区民農 園等需要のある事業への活用を促進し、樹木 育成場を縮小することを検討している。	B	みど り推 進課	
					達成率	達成率														
			本	359	300	500	500													
			%	71.8	60.0															
経費	投入経費	千円	11,508	7,997	7,744															
		上記のうち 人件費	千円	1,600	2,560	2,160														

平成25年度 事務事業評価 施策別総括表

【施策番号:412 施策名:みどりを愛しはぐむ活動を広げる】

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				総合評価理由	前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課
													成果	効率性	必要性	総合評価					
1	緑化推進事務(葉っぱい基金・みどりの機構)	区民・事業者・区がパートナーシップを組み、練馬のみどりを守り育てていくため	成果指標	練馬みどりの葉っぱい基金積立額(毎年度)	千円	実績	実績	目標	目標	AC	B	該当	B	A	A	A	基金の積み立て額は順調に推移し、累計の積み立て額が688,741千円となっている。	B	より多くの区在住・在勤・在学者にびいちゃんファンクラブの会員になっていただけるようにPR活動を行う。 練馬みどりの機構の事業充実を図るとともに、事業を行うために必要な組織の強化について検討を行う。	B	みどり推進課
						達成率	達成率														
			経費	投入経費	千円	135,606	62,381	57,381													
					上記のうち人件費	千円	7,200	12,640	10,400												
2	緑化委員会等事務(緑化委員会・緑化協力員)	みどりの保全と創出に関する重要な事項を調査、審議するにあたり、区民の協力を求めるため	成果指標	緑化協力員の活動回数	回	実績	実績	目標	目標	A	A	該当	A	AA	A	A	緑化協力員の活動が活発に行われ、新たに民有地への植樹活動を取り組むブロックもあり、良好に進んでいる。 緑化委員会は年4回開催されており、区のみどりの保全および創出に関する重要な事項について調査審議し、意見を述べている。	C	緑化協力員制度が充足してから36年経過している。その間に協力員の花壇管理活動などは駅からはじまる花いっぱい運動、自主管理花壇委員会等類似した事業が開始された。また練馬みどりの機構が行っている類似する協働事業との整理や統合の検討を引き続き行い、可能なものから実施する。	B	みどり推進課
						達成率	達成率														
			経費	投入経費	千円	13,634	11,822	10,915													
					上記のうち人件費	千円	9,600	9,040	7,600												
3	保護樹木等の調査および管理事務(落ち葉のリサイクル)	落ち葉を資源として活用するため	成果指標	収集した落ち葉の腐葉土化率	%	実績	実績	目標	目標	AB	B	該当	C	B2	A	D	原発事故による放射能問題により腐葉土の生産ができなかった	B	腐葉土の具体的な活用先の検討 腐葉土の生産方法の改善	E	みどり推進課
						達成率	達成率														
			経費	投入経費	千円	6,091	3,345	3,600													
					上記のうち人件費	千円	800	800	800												
4	花とみどりの相談所等事務(花とみどりの相談所)	区民のみどりに関する知識・技能の向上を図り、より一層みどり豊かな練馬区を目指すため	成果指標	相談件数(相談件数/目標相談件数)	件	実績	実績	目標	目標	A	B	非該当	A	A	A	A	講習会、観察会の講師や区民からの電話や来館者に直接対応する相談業務を通じて、様々なみどりの普及、啓発を図ることができ、良好に進んでいる。	B	講習会等を充実していくための検討を行っていく。	B	みどり推進課
						達成率	達成率														
			経費	投入経費	千円	64,178	72,150	69,475													
					上記のうち人件費	千円	13,840	25,440	23,680												

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課
													成果	効率性	必要性	総合評価				
5	花とみどりの相談所等事務(牧野記念庭園)	世界的に有名な植物学者牧野富太郎博士の居住地を庭園として開放し、広く一般に博士の業績を紹介し、みどりの文化の向上に寄与するため	成果指標	来園者数 (来園者数 / 目標来園者数)	人	実績	実績	目標	目標	AC	B	非該当	B	A	A	A	-	特色ある展示会を企画するとともにパブリシティを積極的に活用する。	B	みどり推進課
						達成率	達成率													
			%	%	90.0	99.9														
			経費	投入経費	千円	34,298	47,296	42,735												
	上記のうち人件費	千円	1,600	10,320	8,320															

平成25年度 事務事業評価 施策別総括表

【施策番号:421 施策名:区民・事業者による身近なところからの地球温暖化防止を促進する】

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				総合評価理由	前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課	
												成果	効率性	必要性	総合評価						
1	環境教育・啓発事務(環境基本計画の策定および進捗管理)	区の環境保全に関する基本的指針と具体的な施策の展開を示し、円滑な実施を図るため。	成果指標 環境指標の状況に関する調査結果において、評価分類がAまたはBの指標の数	指標数	実績 19	実績 18	目標 17	目標 17	A	A	非該当	A	A	A	A	19指標中18指標において目標を達成しており、良好に進んでいるといえる。	B	「環境基本計画2011」が平成26年度で前期計画が終了するため、その改定に向け国や都の動向に注視し、環境指標等を適切に見直すための検討を開始する。	B	環境課	
				達成率	76.0	105.9															
				経費 投入経費	千円	8,000	4,960	4,960													
				上記のうち人件費	千円	8,000	4,960	4,960													
2	地球温暖化対策推進事務(地球温暖化対策地域協議会支援)	区民、事業者、練馬区等が、相互に連携して日常生活に起因する温室効果ガスの排出量を抑制し、地域における地球温暖化対策の推進を図る。	成果指標 協議会事業への参加者数	名	実績 2,321	実績 1,819	目標 1,900	目標 2,000	A	C	該当	A	A	A	A	地域協議会を支援することは、家庭や事業所から排出される温室効果ガス削減のために、効率的かつ効果的な事務事業であり、区民のニーズをとらえ良好に進んでいる。	A	ホームページを充実し、マスコットキャラクターを活用することにより、地域協議会の広報活動を積極的に展開する。	B	環境課	
				%	136.5	101.1															
				経費 投入経費	千円	23,078	31,055	32,849													
				上記のうち人件費	千円	4,000	7,200	3,680													
3	環境一般事務(環境情報共有化)	区の環境の現状を区民等へ周知することによって、環境への関心を深め、環境を守り育てる意識を醸成するため。	成果指標 「ねりまのかんきょう」発行部数	部	実績 500	実績 500	目標	目標	D	B	非該当	A	A	A	A	今後も、練馬区環境基本条例に基づき環境の監視・測定の結果や環境保全の施策の実施状況等を区民や事業者等へ周知する。	-	「ねりまのかんきょう」の掲載内容について、掲載の必要性の精査を行う。	B	環境課	
				%																	
				経費 投入経費	千円	9,148	8,659	10,301													
				上記のうち人件費	千円	2,000	2,000	2,000													
4	地球温暖化対策推進事務((仮称)練馬区版カーボン・オフセット制度の創設)	温室効果ガス排出量を削減し、地球温暖化対策を推進するため。	成果指標 制度創設の進捗状況	制度設計	実績 100.0	実績 1,280	目標 880	目標 880	AB	A	非該当	B	B2	A	B	区民の環境意識高揚のために二酸化炭素削減の仕組みづくりは重要である。区独自のカーボン・オフセット制度の創設は課題が多いが、実施の可能性のあるモデル事業について検討が進んでいる。	B	区独自のカーボン・オフセット制度について検討を進める。様々な課題があるが、実施の可能性のあるモデル事業を中心に検討を進めていく。また、一般的なカーボン・オフセット活用の検討も進めていく。	B	環境課	
				制度検討																	
				経費 投入経費	千円	6,640	1,280	880													
				上記のうち人件費	千円	1,600	1,280	880													

平成25年度 事務事業評価 施策別総括表

【施策番号:421 施策名:区民・事業者による身近なところからの地球温暖化防止を促進する】

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				総合評価理由	前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課
													成果	効率性	必要性	総合評価					
													総合評価理由								
5	環境教育・啓発事務(環境啓発事業の実施)	身近なところからの地球温暖化防止活動・環境保全活動の促進を図るため。	成果指標	環境作文コンクールの応募件数		実績 達成率	実績 達成率	目標	目標	D	B	該当	AA	A	A	A	環境啓発事業の実施は、区民の環境意識向上や節電行動の定着などもうかがえることから、事業は良好に進んでいる。	-	啓発事業を実施する際には、他の区立施設と連携をとり、区民が参加しやすい事業実施を検討する。	B	環境課
				人	1,320	1,512	1,100	1,100													
			%	120.0	137.5																
			経費	投入経費	千円	30,908	24,003	36,851													
	上記のうち人件費	千円	16,000	13,440	15,840																
6	地球温暖化対策推進事務(住宅・事業所の地球温暖化対策設備設置補助)	地球温暖化対策の推進および区民の環境意識の高揚を図る。	成果指標	地球温暖化対策住宅用設備設置補助件数		実績 達成率	実績 達成率	目標	目標	AB	B	非該当	AA	AA	A	AA	本補助制度は家庭から排出される二酸化炭素削減のために、効率的かつ効果的な補助制度であり、区民のニーズをとらえ良好に進んでいる。また、申請者が多い場合には、抽選で交付者を決定しているため公平である。	A	一部の補助対象機器について、1件当たりの補助金額を見直し、より多くの区民や事業者へ補助金が交付できるように改善する。	B	環境課
				件	666	684	557	557													
			%	119.6	122.8																
			経費	投入経費	千円	61,066	75,505	79,624													
	上記のうち人件費	千円	3,200	15,520	13,760																
7	環境教育・啓発事務(取組支援)	身近なところからの地球温暖化防止活動・環境保全活動の促進を図るため	成果指標	ねりまエコ・アドバイザーが関わった環境保全・環境教育関係事業の年間実施数		実績 達成率	実績 達成率	目標	目標	D	A	該当	A	A	A	A	環境活動に対する区の支援は、ねりまエコ・アドバイザーが関わった環境保全・環境教育関係事業の年間実施数が増加していることから、良好に進んでいる。	-	環境課の他の事業の中でも、支援事業について周知していくことを検討する。	B	環境課
				人	500	538	483	500													
			%	111.4	115.5																
			経費	投入経費	千円	5,148	13,800	15,420													
	上記のうち人件費	千円	4,400	12,960	14,480																

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課	
													成果	効率性	必要性	総合評価					総合評価理由
1	公害対策事務 (環境配慮)	大規模事業の実施に伴う環境への著しい影響の発生を未然に防止するため。	成果指標	環境影響評価図書縦覧・閲覧業務の実施回数	回	実績 達成率	実績 達成率	目標	目標	A	A	非該当	A	A	A	A	環境影響評価制度について、区民が意見を表明する仕組みが活用されており、制度の運用は良好に進んでいる。	-	ホームページや区報を積極的に活用することで、さらに区民の方に分かりやすく身近な制度としていきたい。	B	環境課
				投入経費	千円	6,400	3,360	4,960													
			経費	上記のうち人件費	千円	6,400	3,360	4,960													
				実績 達成率	実績 達成率	目標	目標														
2	環境審議会事務	区の環境保全に関する基本的な計画および基本的事項の調査審議を行うため	成果指標	会議の開催数	回	実績 達成率	実績 達成率	目標	目標	D	A	非該当	A	A	A	A	区の環境保全に関する基本的な事項について、環境審議会での意見を集約し、区の環境施策に反映させており、良好に進んでいる。	-	「環境計画2011」が平成26年度で前期計画が終了となるため、計画の改定に向けて環境審議会事務においても効率的に準備を進める。	B	環境課
				投入経費	千円	2,037	2,993	5,671													
			経費	上記のうち人件費	千円	1,600	2,560	5,120													
				実績 達成率	実績 達成率	目標	目標														

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				総合評価理由	前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課
													成果	効率性	必要性	総合評価					
1	環境マネジメントシステム運用事務	区の事務事業執行に伴う温室効果ガスの排出抑制をはじめとする環境負荷の低減と、環境保全のための行動を推進することで環境課題の解決に向けて取り組むため。	成果指標	区の事業活動による電気使用量 (目標÷実績)	万kWh	実績 達成率	実績 達成率	目標	目標	A	A	非該当	A	A	A	A	環境負荷の低減への取組および環境保全のための行動の推進への取組が良好に進んでいる。	A	今後国等のHPや報道発表資料によりエネルギー施策の動向を注視し、新電力の電源構成やCO2排出係数にも留意しながら、新電力の導入施設を拡大する。	B	環境課
					%	6,721	7,141	7,270	7,270												
			経費	投入経費	千円	16,612	13,669	13,177													
					上記のうち人件費	千円	16,000	13,040	12,640												
2	温暖化防止足元からの行動促進事務(街路灯の省エネルギー化)	地球温暖化防止に向けて練馬区の温室効果ガス総排出量を削減するため。	成果指標	練馬区長期計画での計画数に対する省エネルギー化改修が完了した街路灯の数	基	実績 達成率	実績 達成率	目標	目標	AB	B	非該当	AA	AA	A	AA	平成26年度までの長期計画では、1500基の水銀灯100Wを省エネルギー型街路灯に改良する計画になっている。これが達成されると平成22年度の総電力量に比べて5%の節電になる。また、長期計画後も改良対象街路灯は約1500基残っているため、そのすべてを省エネルギー型街路灯に改良した場合は平成22年度のそれと比べ約10%の節電になる。	A	東京電力(株)に働きかけをして電気使用申込の方法を工夫し、従来より早く電気料金の削減変更をおこなう。	B	道路公園課
					%	677	723	300	300												
			経費	投入経費	千円	76,386	81,083	42,490													
					上記のうち人件費	千円	4,000	2,400	2,800												

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				総合評価理由	前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課
													成果	効率性	必要性	総合評価					
1	リサイクルセンター整備事務	区民との協働による環境・リサイクルに関する情報発信等の普及啓発事業の拠点を整備するため。	成果指標	計画どおり事業が進捗している割合(基本設計10%、実施設計20%、整備工事70%の比率とする。)	%	実績	実績	目標	目標	AB	B	該当	D	B2	A	D	4か所目の施設整備について、候補地である関越自動車道高架下の活用に関する協議に時間を要したため、「基本設計」に着手することができなかった。	C	高架下空間の特性を踏まえた施設整備を進める。	B	清掃リサイクル課
						達成率	達成率														
			0	0	10	20															
			0	0																	
経費	投入経費	千円	800	2,400	17,163																
	上記のうち人件費	千円	800	2,400	8,960																
2	リサイクルセンター維持運営事務	区民との協働によるリサイクルの拠点として、施設の機能維持および各種事業を実施し、区民の環境に配慮した意識の向上を図るため。	成果指標	環境月間行事来館者数(各館2日間開催)	人	実績	実績	目標	目標	A	D	該当	A	A	A	C	環境月間行事来館者数をモノサシとした成果指標による目標は達成された。しかしながら、リサイクルセンターに対して実施した平成24年度のモニタリングにおいて、「職員研修の縮小、人事評価への不満、ボランティア体制の一部混乱」が見られたことから要改善と評価し、改善勧告を行った。	B	平成24年度モニタリングで改善勧告を行った。「職員研修の縮小、人事評価への不満、ボランティア体制の一部混乱」について、指定管理者が作成した業務改善計画に基づき、改善が図られるよう指導を継続的に行っていく。	B	清掃リサイクル課
						達成率	達成率														
			1,614	1,756	1,800	1,800															
			119.6	117.1																	
経費	投入経費	千円	152,946	150,091	149,225																
	上記のうち人件費	千円	7,200	9,280	8,400																
3	循環型社会推進会議事務	リサイクルの推進ならびに廃棄物の減量および処理に関する基本的事項を審議するため。	成果指標	任期中(2年)に区長へ答申する	%	実績	実績	目標	目標	D	B	非該当	A	A	A	A	区民、事業者、学識経験者から様々な意見を集約し、区のリサイクル事業やごみ減量化に係る新たな施策や効率化などについての答申を行った。	-	充実した審議が行われるように、事務局として情報提供(他の自治体における取組みや関係書籍の紹介など)の充実に会長と相談しながら取り組む。	B	清掃リサイクル課
						達成率	達成率														
			審議	答申	審議	答申															
			100.0																		
経費	投入経費	千円	13,221	9,297	11,838																
	上記のうち人件費	千円	12,000	8,400	10,960																
4	ごみ減量・リサイクル普及啓発事業	循環型社会づくりを推進し、ごみの減量やリサイクルの推進に関する区民および事業者の意識を高めるため	成果指標	普及啓発事業に参加した区民の数	人	実績	実績	目標	目標	A	B	非該当	B	A	A	A	平成20年度の新分別変更後および平成25年度の曜日変更に向けて積極的に普及啓発事業を行った結果、混乱を招くことなく順調に清掃リサイクル事業が進んでいる。	A	イベント等で、積極的にごみ減量・リサイクル推進の普及啓発を行っていく。	B	清掃リサイクル課
						達成率	達成率														
			4,100	3,794	4,000	4,000															
			136.7	94.9																	
経費	投入経費	千円	54,232	86,311	68,019																
	上記のうち人件費	千円	38,400	66,000	59,280																

平成25年度 事務事業評価 施策別総括表

【施策番号:425 施策名:リサイクルを進める】

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課
													成果	効率性	必要性	総合評価				
1	建築指導事務(リサイクル)	再生資源の利用と廃棄物の減量等を通じて資源の有効利用と廃棄物の適正処理を図るため	成果指標	処理件数/申請件数	%	実績	実績	目標	目標	D	A	非該当	A	A	A	A	審査体制が整備されているため迅速かつ正確に業務が進められており、廃棄物の適正処理が良好に進んでいる。	A	B	建築課
						達成率	達成率													
			経費	投入経費	千円	6,400	6,400	1,280												
					上記のうち人件費	千円	6,400	6,400	1,280											
2	リサイクル推進事務	ごみの減量とリサイクルを推進するため。	成果指標	ごみと資源を合わせた総量に対する資源の割合{回収資源量/(ごみの総量+回収資源量)}	%	実績	実績	目標	目標	A	B	該当	B	A	A	B	ごみが減量する一方で、資源回収に対する正しい知識が進み、区のリサイクル率向上のため、有効に資源化が進んでいる。	B	A	清掃リサイクル課
						達成率	達成率													
			経費	投入経費	千円	2,756,034	2,643,673	2,639,348												
					上記のうち人件費	千円	66,400	115,360	113,200											
3	資源循環センター維持運営等事務	練馬区における資源循環施設の拠点として機能させるため。	成果指標	資源循環センターへの粗大ごみ持込み件数(平成22年11月より開始)	件	実績	実績	目標	目標	D	C	非該当	B	AA	A	B	平成23年度粗大ごみ回収件数172,118件のうち持込み件数は、15,572件。24年度は粗大ごみ回収件数173,522件のうち持込み件数は、15,820件。目標には達していないが区民による粗大ごみの持込みは増加している。	B	B	清掃リサイクル課
						達成率	達成率													
			経費	投入経費	千円	219,776	115,642	120,371												
					上記のうち人件費	千円	100,000	5,040	5,040											

平成25年度 事務事業評価 施策別総括表

[施策番号:426 施策名:ごみの適正処理を進める]

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				総合評価理由	前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課	
													成果	効率性	必要性	総合評価						
1	ごみ処理券関係事務	ごみ処理券を適正に管理するため	成果指標	立入検査における指導の無かった店舗の割合(指導無件数/立入検査数)	%	実績	実績	目標	目標	D	B	非該当	B	A	A	A	ごみの適正処理のためには、区民や事業者のごみの排出量にあった廃棄物手数料の負担が必要である。また、区内の取扱店舗は増加しており、区民の利便性は高く、取扱店の対応等について区民からの意見や苦情等もなく、良好に進んでいる。	-	10月の廃棄物処理手数料改定について、改定後も取扱店がスムーズに業務が行えるよう十分な説明を行う。廃棄物処理手数料改定にあわせて、各取扱店が適正に事務が進められるよう、業務に必要な帳票類の見直しを検討する。	B	清掃リサイクル課	
				達成率		達成率																
			経費	投入経費	千円	32,587	45,741	53,911														
			上記のうち人件費	千円	8,000	20,640	21,440															
2	一般廃棄物処理業許可事務	廃棄物の適正処理の確保および生活環境の保全を図るため	成果指標	立入検査における指導の無かった業者の割合(指導無件数/立入検査数)	%	実績	実績	目標	目標	D	A	非該当	AA	A	A	A	許可業者から提出された届出受付等、許可事務を迅速・適正に処理をしている。	-	平成25年度からは、申請書等の受理、審査、許可証の交付を東京二十三区清掃協議会が行い、23区全体での事務の効率化を図る。	C	清掃リサイクル課	
				達成率		達成率	100	100														
			経費	投入経費	千円	25,694	18,568	6,537														
			上記のうち人件費	千円	24,000	16,880	4,240															
3	清掃作業運営事務	ごみを適正に処理し、生活環境を清潔に保つため。	成果指標	分別状況の良い集積所の占める割合	%	実績	実績	目標	目標	A	B	非該当	B	A	A	B	排出されたごみについては、適正に処理がなされていることから事業は概ね良好に進んでいる。また、分別方法の指導をはじめとする排出指導や集積所に係る相談なども丁寧に行うことができている。	B	一部の地域の収集曜日やコース等の変更を行い、効率的な収集作業を行う。また、夜間指導にも更に取り組んでいくことでより集積所の改善を図る。	B	馬・清掃リサイクル課事務、練	
				達成率		達成率	99.6	99.7														
			経費	投入経費	千円	3,822,975	4,000,772	4,124,763														
			上記のうち人件費	千円	1,896,800	1,763,040	1,818,800															
4	清掃事務所維持運営事務(練馬・石神井清掃事務所)	清掃事務所職員の労働安全衛生および清掃事務所の維持運営を効率的かつ円滑に進めるため	成果指標	練馬・石神井清掃事務所の維持運営にかかる光熱水費の支出。達成率 = 100% + (1 - 実績 ÷ 目標) × 100	%	実績	実績	目標	目標	D	B	非該当	A	A	A	B	節電、節水対策は、成果があった。	A	職員の健康に留意し、電気、ガス、水道料の経費削減のための使用方法を検討する。	B	練馬・石神井清掃事務所	
				達成率		達成率	111.1	102.3														
			経費	投入経費	千円	678,622	151,198	153,245														
			上記のうち人件費	千円	96,000	50,640	53,040															

平成25年度 事務事業評価 施策別総括表

【施策番号:426 施策名:ごみの適正処理を進める】

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				総合評価理由	前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課
													成果	効率性	必要性	総合評価					
5	清掃事業所維持運営事務(谷原清掃事業所)	廃棄物の収集・運搬を安全で効率的に実施できるよう清掃車両の運行・管理を適正に行うため	成果指標	適正な車両管理により計画どおりの配車できた割合	%	実績 達成率	実績 達成率	目標	目標	D	A	非該当	A	A	A	A	適正な車両管理を行うことで、排出されたごみもより適正にかつ迅速に処理することができている。全体的にも事業は良好に進んでいる。	A	今年度も効率のかつ適正なごみ収集を行うために、引き続き清掃車両の安全にも配慮した配車、運行管理に取り組んでいく。	B	石神井清掃事業所
				100		100	100	100													
			100	100																	
			経費	投入経費	千円	143,367	139,187	142,714													
	上記のうち人件費	千円	48,000	48,000	48,000																
6	練馬・光が丘清掃工場の建替えに係る情報提供事務	練馬・光が丘清掃工場の建替えに関する進捗状況等について、東京二十三区清掃一部事務組合と連携しながら区民に情報提供するため。	成果指標	ねりま区報における関連情報の必要掲載回数	%	実績 達成率	実績 達成率	目標	目標	D	A	非該当	A	A	A	A	建替工事自体も計画どおり進んでおり、情報提供についても区と清掃一組とで十分になされていることから、現在の周知は、良好に進んでいると考える。	-	情報提供については、現行の状況による進め方が好ましい。	B	清掃リサイクル課
				2回		2回															
			経費	投入経費	千円	1,600	800	800													
	上記のうち人件費	千円	1,600	800	800																

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				総合評価理由	前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課
													成果	効率性	必要性	総合評価					
1	公害対策事務 (監視業務)	大気環境等の監視データを活用し、地域環境の保全・改善していくため。	成果指標	有効測定時間(年間6000時間以上)を達成した測定室の箇所数	箇所	実績 3	実績 3	目標 3	目標 3	A	B	非該当	A	A	A	A	統計資料は年1回確実に開示を行うことで区民の関心に応えられており、監視およびデータの開示は良好に進んでいる。	B	情報公開室に設置している一般環境測定室の移転を準備する。 PM2.5の監視業務については、引き続き東京都の測定状況、結果を踏まえ、新たな測定項目として導入を検討する。	B	環境課
				達成率	%	100.0	100.0														
			経費	投入経費	千円	28,712	25,916	38,042													
				上記のうち人件費	千円	4,800	3,280	3,440													
2	車両維持運営事務	環境に配慮した車両を維持管理することにより、公害パトロール等の移動手段とするとともに環境学習事業等にも活用し、温室効果ガスの排出抑制に努めるため。	成果指標	低公害車の使用実績において、ガソリン自動車を使用した場合の想定と比較したCO2削減率	%	実績 32	実績 32	目標 30	目標	D	B	非該当	A	B1	A	A	現場での事業執行や区民からの緊急な要請に対応するため、職員の移動手段として効率的に使用している。また、電気自動車については、小学校や保育園などを対象に実施している「ふれあい環境学習」等において積極的に活用しており、区が率先して地球温暖化対策に取り組むことで、区民に対して環境に対する周知・啓発に活用している。	-	天然ガス車については、効率的な運用と、エコドライブを推進することで、温室効果ガス排出抑制を図る。また、電気自動車については、周知・啓発を継続しながら、今までの運用状況を検証し、効率的な運用を図る。	B	環境部経営課
				達成率	%	107	107														
			経費	投入経費	千円	13,769	14,274	14,850													
				上記のうち人件費	千円	3,200	3,200	3,200													
3	公害対策事務 (自動車交通公害問題への対応)	沿道の大気環境、騒音を測定し、地域環境の保全・改善につなげていくため。	成果指標	有効測定時間(年間6000時間以上)を達成した測定室の箇所数	箇所	実績 10	実績 10	目標 10	目標 10	A	B	非該当	A	A	A	A	統計資料は年1回確実に開示を行うことで区民の関心に応えられており、監視およびデータの開示は良好に進んでいる。	B	老朽化による測定室の建替えについて引き続き検討する。	B	環境課
				達成率	%	100	100														
			経費	投入経費	千円	1,600	1,840	2,640													
				上記のうち人件費	千円	1,600	1,840	2,640													
4	公害対策事務 (問題解決)	区民が健康で安全かつ快適な生活を営む上で必要な環境を確保するため。	成果指標	苦情処理件数	件	実績 204	実績 204	目標	目標	A	A	非該当	A	A	A	A	個別に対応すべき事例には法・条例に基づく指導が良好に行われている。	A	苦情の処理については、職員全員が迅速かつ適切な判断を行うため、業務のマニュアル整備を行う。また問題や課題が生じた場合は、係全体で対応できるようにミーティング等で共通の認識を持つようにする。	B	環境課
				達成率	%																
			経費	投入経費	千円	32,174	25,632	25,599													
				上記のうち人件費	千円	32,000	25,120	24,960													

平成25年度 事務事業評価 施策別総括表

【施策番号:431 施策名:公害問題の解決を図り、地域環境の保全・改善を推進する】

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				総合評価理由	前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課		
												成果	効率性	必要性	総合評価							
5	公害対策事務(規制業務)	アスベスト除去への助成や、工場・指定作業場の把握や建築工事の監視・指導を行うことで、安全で安心なまちを目指すため	成果指標	大気汚染防止法対象のアスベスト除去工事立入り検査の実施	件	実績 達成率 21	実績 達成率 26	目標	目標	A	A	非該当	A	A	A	A	アスベストに関する工事を円滑に監視・指導しており、区民の安全を確保するための業務が良好に進んでいる。	A	アスベスト除去工事費用・調査費用の助成については、制度の改正もあったため、区報、区ホームページ、パンフレット等での周知に努める。	B	環境課	
			経費	投入経費	千円	14,362	1,719	6,122														
				上記のうち人件費	千円	13,200	1,680	1,680														
6	公害対策事務(有害物質汚染対策業務)	産業公害の予防に努め、土壌汚染および土壌汚染に起因する地下水の汚染が、人の健康に支障を及ぼすことを防止するため。	成果指標	区民・事業者への土壌汚染に関する情報提供	件	実績 達成率 1,500	実績 達成率 1,517	目標	目標	A	A	非該当	A	A	A	A	区民の健康被害防止のため、区独自の啓発や立ち入り調査をそれぞれ着実に行うことで、指導業務は良好に進んでいる。	B	クリーニング店を含む事業者の有害化学物質取扱い状況について、引き続き実態調査を実施する。	B	環境課	
			経費	投入経費	千円	6,132	5,934	4,667														
				上記のうち人件費	千円	6,000	4,960	4,400														
7	公害対策事務(水質汚濁業務)	河川等の水質調査を行い、河川等の状況の監視を継続し、区民に結果を周知するため。	成果指標	水質汚濁等の調査回数の合計数 河川・池等水質調査 地下水質調査 水生生物調査	箇所	実績 達成率 47	実績 達成率 47	目標	目標	D	B	非該当	A	B1	A	A	水質には改善傾向が見られ、区民への水質調査結果の周知、区役所本庁舎アトリウム水槽での生物展示など、今後も継続した業務が求められる。	A	平成25年度は白子川環境協議会の幹事区として、事業の取りまとめを行う。 また、小学校の庁舎見学时にアトリウム水槽に関する資料を配布し、環境施策の周知に取り組む。	B	みどり推進課	
			経費	投入経費	千円	4,041	4,256	5,024														
				上記のうち人件費	千円	1,600	2,560	2,560														
8	放射線等対策事務	定期的に空間放射線量を測定・監視し、また、緊急時に対応できる体制をとっておくことにより、放射線等に対する区民の安全、安心に寄与するため。	成果指標	毎月空間放射線量を測定する箇所数	箇所	実績 達成率 12	実績 達成率 12	目標	目標	A	B	非該当	A	A	A	A	測定データは随時ホームページで公表し、区民への情報提供に応えられており、監視およびデータの開示は良好に進んでいる。	-	平成26年度以降、長期的な視点から、区としての放射線量の監視体制のあり方を検討する。	B	環境課	
			経費	投入経費	千円		2,426	3,133														
				上記のうち人件費	千円		1,520	1,520														

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課		
												成果	効率性	必要性	総合評価						
												総合評価理由									
1	環境美化事務(まち美化)	区民、事業者と区が連携してまちの美化に努め、まちをきれいにするため。	成果指標	環境美化推進地区および環境美化活動団体の登録世帯数	世帯	実績 124,859	実績 113,530	目標 137,000	目標 140,000	A	B	該当	B	A	A	B	美化活動団体について、登録世帯数は前年比で減少となったが登録団体数は前年と比較し、ほぼ同数である。区内一斉清掃のほか、美化活動団体による定期的な清掃活動も定着してきており、まちの美化が一定に保たれているため。	A	美化活動団体としての年度分の活動報告を提出してもらうことにより、活動の実態を把握し、今後必要性が見込まれる支援等を検討する。	B	環境課
				経費	投入経費	千円	17,749	13,941	12,535												
				上記のうち人件費	千円	12,000	9,120	5,920													
				達成率	%	95.3	84.7														
2	あき地の管理適正化事務	あき地の管理の適正化を図ることにより、生活環境を保全し、健全で安全な住民生活を確保するため	成果指標	あき地の除草件数(適正管理)	件	実績 85	実績 62	目標	目標	D	B	非該当	A	A	A	A	「あき地の管理の適正化に関する条例」に基づき、あき地の管理指導について所有者に対して除草・撤去の指導を行った。	-	草刈機の経年劣化が進んでいるため、安全性の観点から草刈機の貸し出しについて廃止の検討を行う。	B	環境課
				経費	投入経費	千円	7,762	8,175	6,635												
				上記のうち人件費	千円	4,800	5,760	3,360													
				達成率	%																
3	環境美化事務(歩行喫煙等)	歩行喫煙やタバコのポイ捨てをなくし、安全で快適な歩行空間を確保することによって、たばこを吸う人も吸わない人も快適に生活できる地域社会を目指す。	成果指標	歩行喫煙率(練馬・大泉学園・石神井公園・光が丘の4駅)	%	実績 0.4	実績 0.1	目標 0.1	目標 0.1	A	B	非該当	AA	A	A	A	歩行喫煙防止対策を行い、喫煙者のマナー向上に訴えることで、歩行喫煙やたばこのポイ捨てのない安全で暮らしやすい社会の貢献に寄与している。	A	様々な機会を捉え、歩行喫煙・たばこのポイ捨ての禁止について伝えることによって、区民のマナー向上を図る。	B	環境課
				経費	投入経費	千円	79,820	73,036	48,206												
				上記のうち人件費	千円	8,000	7,200	8,000													
				達成率	%	50.0	200.0														

平成25年度 事務事業評価 施策別総括表

【施策番号:441 施策名:区民・事業者とともにまちづくりを進める】

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課					
													成果	効率性	必要性	総合評価					総合評価理由				
1	都市整備一般事務(都市計画調査員)	事業者・区民等に都市計画の制限内容等の情報提供をするとともに、関係部署への案内を行うため	成果指標	窓口および電話による問い合わせの件数	件	実績	実績	目標	目標	A	A	非該当	A	A	A	A	区内の開発行為や建築行為の事業は、法令や条例の規制に従って適切に進められている。	A	ホームページでの都市計画情報システムの周知を図り、広く情報を提供する。 窓口の案内資料の充実を図る。	B	都市計画課				
						達成率	達成率															29,190	30,943		
			経費	投入経費	千円	16,175	16,860	14,727																	
					上記のうち人件費	千円	800	880	1,760																
2	都市計画決定手続事務	都市計画を定めるに当たり、練馬区まちづくり条例に基づき、住民の意見を都市計画に反映させることができるように、丁寧かつ公正な手続を行うため	成果指標	都市計画の原案および案の公告・縦覧、意見書および公述申出の受付、説明会の開催等、区民の意見を反映させる措置として行う手続のうち、実際に実施した割合	%	実績	実績	目標	目標	A	B	非該当	B	A	A	A	丁寧かつ公正な都市計画の決定手続事務を円滑に行っている。	A	法令に基づく都市計画決定・変更手続きについて、可能な範囲で事務の簡素化を図る。	B	都市計画課				
						達成率	達成率															90.8	95.7	100	100
						95.6	95.7																		
			経費	投入経費	千円	11,381	17,275	20,642																	
					上記のうち人件費	千円	9,600	15,680	17,440																
3	開発および相隣調整事務	良好なまち並みと居住環境の保全および形成するとともに、良好な近隣関係の保持を図るため	成果指標	(標識設置届出件数-25年度への継続件数) / 標識設置届出件数	%	実績	実績	目標	目標	A	A	非該当	A	A	A	A	本事業は地域における紛争の解決と開発事業における良好なまちづくりに寄与し、だれもが安心して快適に暮らせるまち、地域コミュニティを大切にしたい活力あるまちの実現に大きく貢献している。	A	開発事業の基準を遵守するとともに、将来のまちのあり方を描き、その実現に向け指導することにより、良好なまち並みの形成を図っていく。	B	開発調整課				
						達成率	達成率															98.8	99.0	99	
			101	101																					
			経費	投入経費	千円	120,897	122,376	121,212																	
上記のうち人件費	千円	120,000			121,440	120,320																			
4	建築関係委員会等事務(建築紛争調停委員会)	中高層建築物等の建築に係る紛争を予防・調整することにより、良好な近隣関係を保持し、地域における健全な生活環境を維持・向上するため	成果指標	委員会の開催数	回	実績	実績	目標	目標	D	A	非該当	A	A	A	A	公平・公正な調査・審議により、早期紛争解決へ成果を上げている必要性の高い委員会であり、事業は良好に進んでいる。	-	良好な近隣関係の保持と地域における健全な生活環境の維持および向上に資するため、公平・公正な立場における紛争解決を目指す。	B	開発調整課				
						達成率	達成率															12	10		
			経費	投入経費	千円	5,024	5,205	5,707																	
					上記のうち人件費	千円	4,000	4,240	4,240																

平成25年度 事務事業評価 施策別総括表

【施策番号:441 施策名:区民・事業者とともにまちづくりを進める】

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課	
													成果	効率性	必要性	総合評価					総合評価理由
5	建築関係委員会等事務(建築審査会)	建築審査会は、審査請求に対する裁決権、特定行政庁の許可行為に対する同意権などを有した合議制の行政機関として設置され公正な判断をするため	成果指標	審査会の開催数		実績	実績	目標	目標	D	A	非該当	A	A	A	A	建築基準法に基づく建築審査会として、公共の福祉に関し公正な判断をしており、事業は良好に進んでいる。	-	建築基準法上不可欠な合議制の行政機関であり、公平・公正な運営に努めている。	B	開発調整課
					達成率	達成率															
			回	12	13																
			経費	投入経費	千円	9,847	10,469	10,806													
	上記のうち人件費	千円	8,000	8,480	8,480																
6	市街地整備推進事務(まちづくり条例の運用)	都市計画やまちづくりにおける住民参加の仕組みとともに、開発事業を行う場合の手続きや基準などを定めて運用を図ることで、良好なまちづくりを推進するため	成果指標	練馬区まちづくり条例における開発調整の進められた件数の割合		実績	実績	目標	目標	D	A	非該当	B	A	A	A	都市計画やまちづくりにおける住民参加や、開発事業における調整が円滑に行われている。	-	条例で定められた手続きを、公正かつ円滑に行う。	B	都市計画課
					達成率	達成率															
			%	100	90	100	100														
			%	100	90																
	経費	投入経費	千円	8,042	10,522	10,627															
	上記のうち人件費	千円	8,000	10,480	10,480																
7	環境まちづくり公社事務(まちづくり支援)	地域特性に合ったまちづくりを進めるために、住民による自主的なまちづくり活動を支援するため	成果指標	まちづくり条例による団体、計画の認定等		実績	実績	目標	目標	A	B	該当	A	A	A	A	活動指標にあるまちづくりへの区民参加数が増えていることから、センターへの支援を通してまちづくり活動への区民参加を促進することができており、事業は良好に進んでいる。	B	PR事業を継続して実施し、引き続き地域ニーズの掘り起こしを行う。	B	都市計画課
					達成率	達成率															
			箇所	1	1	1	1														
			%	50.0	100.0																
	経費	投入経費	千円	134,250	137,712	139,780															
	上記のうち人件費	千円	800	6,880	6,880																

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				総合評価理由	前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課		
												成果	効率性	必要性	総合評価							
1	市街地整備推進事務(都市計画マスタープランの運用)	練馬区のまちづくりの総合的指針である都市計画マスタープランの運用を踏まえ、まちづくりを推進するため。	成果指標	都市計画マスタープランは、まちづくりの総合的指針であり数値目標の記載は無いことから、運用について指標化することはできない。	実績	実績	目標	目標	A	B	非該当	A	A	A	A	区全体のまちづくりの方針である都市計画マスタープランの運用により、区が主体となって進めるまちづくり、住民等が主体に進めるまちづくりは良好に推進されている。	A	都市計画マスタープランの実施状況等を踏まえ、改定素案を作成する。(改定作業は、住民参加により実施していく。)	B	都市計画課		
				達成率	達成率																	
			経費	投入経費	千円	2,598	26,390	27,965														
				上記のうち人件費	千円	1,600	15,680	15,680														
2	緑化推進啓発事務(風致地区)	都市の自然的な景観と建築や宅地開発等との調和を図るため	成果指標	風致地区条例の基準に基づく指導をし、実施できた割合	実績	実績	目標	目標	D	A	非該当	A	A	A	A	一定の基準に基づいて指導を行うことにより、自然的な景観と宅地開発との調和が図られており、事業は良好に進んでいる。	-	風致に関する区条例の制定に向けた検討を行うとともに、同条例の周知を図っていく。	B	開発調整課		
				達成率	達成率	100	100	100														
			経費	投入経費	千円	11,200	8,000	10,160														
				上記のうち人件費	千円	11,200	8,000	10,160														
3	市街地整備推進事務(土地区画整理事業に関する認可・許可事務)	土地区画整理事業の円滑な推進を図るため	成果指標	申請・相談のあったものうち認可許可した割合	実績	実績	目標	目標	D	A	非該当	A	A	A	A	土地区画整理事業の円滑な推進および良好な市街地を形成するために、引き続き実施する。	-	土地区画整理法に基づいて、適正かつ円滑に事務を行う。	B	都市計画課		
				達成率	達成率	53	60															
			経費	投入経費	千円	800	4,400	4,400														
				上記のうち人件費	千円	800	4,400	4,400														
4	市街地整備推進事務(土地利用規制)	区の都市計画マスタープラン等を踏まえた目指すべき市街地像の実現に向け、土地利用の適正な利用と保全を図るため	成果指標	地区計画等により用途地域等を変更した地区(累計)	実績	実績	目標	目標	A	A	非該当	A	A	A	A	用途地域の変更は、地区計画を併せて指定しているため良好な住環境の保全など地区の課題をきめ細かく対応している。	A	都市計画マスタープランを踏まえ地区計画により地元の合意により用途変更を進める。 生産緑地地区の追加指定を働きかける。	B	都市計画課		
				達成率	達成率	4	5	6													7	
			経費	投入経費	千円	13,574	15,693	31,461														
				上記のうち人件費	千円	10,400	12,240	11,360														

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				総合評価理由	前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課	
												成果	効率性	必要性	総合評価						
5	国土法施行事務	土地の投機的取引や地価高騰を抑制するとともに、適切かつ合理的な土地利用の確保を図るため	成果指標	東京都へ意見書を定める期日(4日以内)までに送付した割合		実績 達成率	実績 達成率	目標	目標	D	A	非該当	A	A	A	A	届出により、土地取引の規制は、土地利用が適正かつ合法的におこなわれている。	A	国土利用計画法に基づいて、適正かつ期限内に事務を行う。	B	都市計画課
					%	100	100	100													
			%	100	100																
			経費	投入経費	千円	929	973	992													
	上記のうち人件費	千円	800	880	880																
6	道路管理事務(地籍調査)	まちづくり事業の進捗が一層図れるとともに、災害時の復旧が円滑に進められるため	成果指標	調査実施地区数		実績 達成率	実績 達成率	目標	目標	D	B	非該当	A	A	A	A	毎年の計画に従い実施している状況ではあるが、震災の影響による成果の復旧作業があった関係で平成23~24年度の調査は事実上休止となった。このため座標変換など必要となる復旧を進め、今年度から通常の調査事業(2地区/年)に復帰する。	-	事業の進捗向上のため、従来より調査事業の地区数を増やす予定。	A	管理課
					地区	1	0	2													
			%	50.0	0.0																
			経費	投入経費	千円	23,562	24,751	25,703													
	上記のうち人件費	千円	12,000	8,240	9,840																
7	建築指導事務(是正指導)	建築物に対する遵法意識を向上させるとともに、違反建築物を減少させることにより、安全安心なまちづくりを目指すため	成果指標	適法な状態の件数/確認等件数		実績 達成率	実績 達成率	目標	目標	D	A	非該当	B	A	A	A	違反防止のためのパトロールおよび継続的な是正指導を行った結果、良好な成果を上げている。	-	違反建築物の事例について、近隣区と情報交換を密に行い、有効な指導手法を検討する。	B	建築課
					%	98.5	99.0														
			%	98.5	98.6																
			経費	投入経費	千円	40,000	40,080	40,160													
	上記のうち人件費	千円	40,000	40,080	40,160																
8	建築物等実態調査事務	着工した建築物のデータを、東京都を経由して国土交通省に送付し、建築動態統計や建設投資推計の資料とするため。	成果指標	調査依頼件数に対する調査処理割合		実績 達成率	実績 達成率	目標	目標	D	A	非該当	A	A	A	A	毎年、調査対象の全数を調査出来ている。	A	書類の見やすさ、作業の効率化を図るため、住宅地図を活用する。	B	建築課
					%	100	100	100													
			%	100	100																
			経費	投入経費	千円	1,273	1,756	1,757													
	上記のうち人件費	千円	1,200	1,680	1,680																

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課	
													成果	効率性	必要性	総合評価					総合評価理由
9	建築指導事務(審査)	建築基準法の目的を達成し、安全で住み良い生活環境の形成を図るため	成果指標	建築確認等申請件数のうち確認等を行った件数(確認等件数/申請件数)	件	実績 1,842	実績 1,938	目標 維持	目標	A	B	非該当	A	A	A	A	法定の事務のため手続きそのものを変えることはできないが、確認申請等の件数の変化や指定確認検査機関への対応を適切に処理している。	B	指定機関への指導を継続し、審査、検査のより一層の適正化を図る。 窓口業務の充実を図り、職員の意識向上に努める。	B	建築審査課、建築課
				達成率	達成率																
			%	%	91.5	97.6															
			経費	投入経費	千円	264,447	302,213	305,571													
	上記のうち人件費	千円	204,000	241,520	241,600																

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課	
													成果	効率性	必要性	総合評価					総合評価理由
1	市街地整備推進事務(景観事業の実施)	景観に対する区民の高い関心と、これに基づく協力や連携を醸成するため	成果指標	景観まちなみ協定制度の協定箇所数(累積)	か所	実績	実績	目標	目標	A	B	該当	A	A	A	A	1 平成22年度から業務の委託を開始した、ねりまの散歩道等を活用した景観ウォッチングは、景観まちづくりに関する区民意識の向上を図ることができている。 2 平成23年度から実施した「景観資源登録制度」「景観まちなみ協定制度」は、順調に進んでいる。 3 届出相談や受理業務も正確かつ迅速に行っている。	A	事業内容の充実を図ると共に、更なる「景観まちづくり」の普及・啓発に努める。計画を運用していく中で、周囲の環境の変化や、実務上の不都合等について見直しを図り、より一層「景観まちづくり」を推進していく。	B	都市計画課
						達成率	達成率														
			経費	投入経費	千円	7,063	26,496	25,772													
					上記のうち人件費	千円	160	6,960	6,080												
2	土木一般事務(屋外広告物の許可)	屋外広告物の表示および屋外広告物を掲出する物件の設置について、許可制とすることにより、良好な景観の形成および風致の維持ならびに公衆に対する危害の防止を図るため	成果指標	許可割合(許可件数/申請件数)	%	実績	実績	目標	目標	D	A	非該当	A	A	A	A	屋外広告物を適正に管理することによって、良好な景観の維持に貢献している。	-	まちの良好な景観を維持するために引き続き、屋外広告物の適正な設置誘導および管理を行う。	B	管理課
						達成率	達成率														
			経費	投入経費	千円	7,200	2,800	5,256													
					上記のうち人件費	千円	7,200	2,800	5,200												

平成25年度 事務事業評価 施策別総括表 【施策番号:451 施策名:良好な市街地を形成する】

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				総合評価理由	前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課
													成果	効率性	必要性	総合評価					
1	地域まちづくり推進事務(地区まちづくり)	幹線道路の整備により住環境の大きな変化が見込まれることから、良好な住環境を維持・保全するため	成果指標	地区計画等、面的整備計画の計画策定進捗度		実績	実績	目標	目標	AB	B	該当	B	A	A	A	丁寧な住民合意形成が図られており、着実にまちづくりが進んでいる。	A	まちづくり計画案等の作成にあたっては、地域住民の意向を把握し計画案に反映するよう努めるとともに、計画内容については広く周知し丁寧な合意形成を図る。	B	まちづくり課・大江戸線延伸推進地域
						達成率	達成率														
			経費	投入経費	千円	93,084	83,393	91,117													
					上記のうち人件費	千円	51,200	54,080	53,440												
2	土支田中央区画整理事務	土支田新駅周辺地区を区画整理事業により良好な都市環境を形成するとともに、大江戸線延伸促進に寄与するため	成果指標	事業による道路整備延長(年度別)	m	実績	実績	目標	目標	AB	B	該当	B	A	A	A	事故線越をおこなった工事は、もともと予定されていた平成25年度工事と施工区域が異なるため、事業全体の進捗に特段影響を及ぼすものではない。平成24年度仮換地の引渡し予定箇所について引渡しを完了しており、事業は計画通りに進んでいる。	A	常に土地区画整理施行者として、コンプライアンスの意識を持ち課内および関係部署との連携を図りながら、事業全体を見据え業務に取り組む。	B	土支田中央区画整理事務担当課
						達成率	達成率														
			経費	投入経費	千円	944,998	1,091,716	985,002													
					上記のうち人件費	千円	100,000	112,160	90,480												
3	組合等土地区画整理推進事務(区画整理事業)	土地区画整理事業により市街地環境を整備するため	成果指標	土地区画整理事業で整備した面積(累計)	ha	実績	実績	目標	目標	AB	A	該当	A	A	A	A	土地区画整理事業により、道路や公園等の公共施設の整備・改善、宅地の利用増進を一体的に進められている。また、事前相談についてはその地域ごとの状況や意向を十分に把握し、施工者が具体的な計画として取組めるよう随時相談対応を行っている。	A	新規地区について、平成25年度の事業開始および円滑な事業推進に向け、地権者の意向把握等に十分に努めていく。	B	まちづくり課推進調整
						達成率	達成率														
			経費	投入経費	千円	86,481	16,777	9,457													
					上記のうち人件費	千円	8,000	9,040	9,440												
4	市街地整備推進事務(地区まちづくり)	幹線道路の自動車交通騒音から居住空間の静穏性を守るとともに、幹線道沿道にふさわしい土地利用を誘導するため。また、建築物の共同化等により市街地環境の向上と優良な住宅の供給促進を図るため。	成果指標	沿道地区計画の区域内における建築物に関する届出件数(累計)	件	実績	実績	目標	目標	D	A	非該当	B	A	A	A	沿道地区計画区域内における建築物の規制誘導は、権利者の建替等が事業進展の要因となる。このため、事業目的の達成に長期の年月を要するものの、着実に成果を上げていると判断する。	A	建築物を適切に規制誘導するため、沿道地区計画に定める制限内容の正確な周知に努める。	B	まちづくり推進調整課
						達成率	達成率														
			経費	投入経費	千円	4,800	3,600	3,520													
					上記のうち人件費	千円	4,800	3,600	3,520												

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課	
													成果	効率性	必要性	総合評価					総合評価理由
5	地区計画推進事務	良好な市街地の保全と形成を図るため	成果指標	地区計画の策定数(累計)	地区	実績 達成率	実績 達成率	目標	目標	AB	A	非該当	B	A	A	A	地区計画区域内における建築物の規制誘導は、権利者の土地利用等が事業進展の要因となる。このため、事業目的の達成に長期の年月を要するものの、着実に成果を上げていると判断する。	A	建築物を適切に規制誘導するため、地区計画に定める制限内容の正確な周知に努める。	B	まちづくり推進調整
					%	28	30	40	42												
			経費	投入経費	千円	125,599	71,562	160,747													
				上記のうち人件費	千円	19,200	34,880	48,640													

平成25年度 事務事業評価 施策別総括表

【施策番号:452 施策名:まちの拠点機能を向上させる】

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				総合評価理由	前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課				
													成果	効率性	必要性	総合評価									
													実績達成率	実績達成率	目標	目標									
1	練馬駅北口区有地活用事業	「練馬の中心核」を形成する拠点の一つとして、賑わいの醸成と活力の創造をめざすため	成果指標	活用に向けた進捗状況		実績	実績	目標	目標	AB	B	非該当	A	A	A	A	スケジュール通りに工事が進捗し、平成26年度の施設開設に向け、事業を着実に進めている。	A	今年度も、平成26年の施設開設に向けて、工事の進捗管理や区施設の開設に向けた調整を行うとともに、開設後の管理に係る検討を行う。	F	経済課				
						達成率	達成率																		
						達成	達成	整備開設準備	施設開設																
2	地域まちづくり推進事務(練馬駅)	練馬駅周辺地区を区の中心核として相応しい機能を有する地区とするため	成果指標	まちづくり計画策定進捗度		実績	実績	目標	目標	AB	B	該当	A	A	A	A	南北両地区の地区計画により建築物の規制・誘導がなされることで、良好なまちづくりが進んでいる。また、南口地区については、無電柱化工事、インターロッキング舗装工事が完了した。こうした基盤整備を踏まえ、めざまちの姿の実現に向けて地域住民が自主的に取り組むまちのローカルルールとして「まちづくり憲章」を策定した。	A	一定の基盤整備は完了したが、まちづくり憲章をもとに、具体的な活動内容や実施方法を検討していくため、継続的に「まちづくり憲章を推進する会」の開催を支援し、地域住民が主体となったまちづくりを進めていく。	F	東部地域まちづくり課				
						達成率	達成率																		
						指数	270	300																	
3	地域まちづくり推進事務(石神井公園駅)	駅周辺の地域拠点の機能向上を図るため	成果指標	地区計画等、面的整備計画の計画策定進捗度		実績	実績	目標	目標	AB	B	該当	A	A	A	A	地域住民が主体となった協議会によるまちづくり計画で示された今後の課題に向けて、まちづくり活動を進めている。今後も地区計画の都市計画変更(住宅地区の地区整備計画の策定)や駅周辺の建築物共同化の支援などを継続し、鉄道高架化や周辺都市計画道路整備の完了後を見据えたまちづくりを進めていく必要がある。	A	・地区計画の都市計画変更に向けた合意形成を進める。 ・駅周辺の建築物共同化の支援を継続し、駅前の顔となる街並みづくりを進める。	B	西部地域まちづくり課				
						達成率	達成率																		
						指数	80	100	190													240			
4	地域まちづくり推進事務(大泉学園駅)	駅周辺の地域拠点の機能向上を図るため	成果指標	計画策定の進捗度		実績	実績	目標	目標	AB	AB	該当	A	A	A	A	平成14年度に南口中心の市街地再開発事業が完了し、現在は北口を中心としたまちづくりを推進するため、市街地再開発事業や地区計画等の都市計画決定がなされ、良好に進んでいる。	A	北口再開発事業の進行管理・・・権利者への支援と再開発組合への補助金等の適正な執行 北口駅前広場の整備・・・工事進捗の管理と工事に対する近隣への配慮および協力 駅周辺まちづくり・・・北西地区におけるまちづくり方針についての周知と合意形成の醸成	B	西部地域まちづくり課				
						達成率	達成率																		
						指数	330	390	440													500			
			経費	投入経費	千円	22,228	6,400	11,025																	
						上記のうち人件費	千円	8,000	6,400														8,000		
			経費	投入経費	千円	11,386	11,285	0																	
						上記のうち人件費	千円	8,000	8,240															0	
			経費	投入経費	千円	19,243	16,077	15,299																	
						上記のうち人件費	千円	12,000	9,280															9,280	
			経費	投入経費	千円	165,087	2,398,423	1,871,666																	
						上記のうち人件費	千円	40,000	49,440															51,920	

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課	
													成果	効率性	必要性	総合評価					総合評価理由
5	地域まちづくり推進事務(生活拠点)	練馬駅、石神井公園駅、大泉学園駅、光が丘駅を除く区内各駅周辺の拠点機能の向上を図るため	成果指標	計画策定の進捗度	指数	実績	実績	目標	目標	AB	B	該当	A	A	A	A	中村橋駅周辺の生活拠点機能の向上を図るための取り組みは着実に実施している。 上石神井駅周辺地区では、平成20年3月策定のまちづくり構想に基づき、より具体的なまちづくりについて検討が行われた。 武蔵関駅周辺地区まちづくり協議会では、平成24年5月「武蔵関駅周辺のまちづくり提言書」が練馬区に提出された。 上井草駅周辺地区では、平成25年3月「上井草駅周辺地区(下石神井四丁目)まちづくり提言書」が練馬区に提出された。	A	まちづくり計画案等の作成にあたっては、今後も地域住民の意向を把握し計画案に反映させるよう引き続き努めるとともに、計画内容等については広く周知丁寧な合意形成を図る。	B	東部地域まちづくり課 西部
						達成率	達成率														
			投入経費	千円	54,458	45,577	42,461														
			上記のうち人件費	千円	32,000	26,240	24,640														

平成25年度 事務事業評価 施策別総括表 【施策番号:453 施策名:災害に強いまちをつくる】

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				総合評価理由	前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課
													成果	効率性	必要性	総合評価					
1	密集住宅市街地整備促進事業推進事務	住宅水準の向上および住環境の整備により、災害に強い総合的なまちづくりを行うため	成果指標	道路・公園等用地取得面積(延べ面積)	㎡	実績	実績	目標	目標	AB	AB	該当	A	A	A	A	計画に沿って道路・公園の整備が進みまちの防災性が高まっている。	A	駅周辺まちづくり検討会を設置する等、地区住民との協働を一層推進し、事業の進捗を図る。	B	東部地域まちづくり課
						達成率	達成率														
			経費	投入経費	千円	2,714,275	2,708,493	717,186													
					上記のうち人件費	千円	24,000	27,520	27,520												
2	狭あい道路拡幅整備事務	4m未満の狭あいな道路を拡幅することにより、良好な住環境を確保し、安全で快適なまちづくりを推進するため	成果指標	助成件数	件数	実績	実績	目標	目標	A	A	非該当	B	A	A	A	限定された予算の中で選択と集中を行い、要綱を改正してより効率的な事業展開を図っている。また、建築行為等の機会を捉えて助成事業の趣旨を広く区民に周知しており、拡幅整備事業は着実かつ良好に進んでいる。	A	より多くの助成対象者が助成申請するよう、手紙や電話等の個別対応を徹底して周知を図り、助成制度の活用を誘導していく。	B	建築課
						達成率	達成率														
			経費	投入経費	千円	59,868	59,673	57,516													
					上記のうち人件費	千円	32,000	28,080	28,080												
3	市街地整備推進事務(復興マニュアルの周知)	地震により被災した市街地や、区民生活、産業を早期に復興する道筋を明らかにし、災害に強いまちをつくるため	成果指標	周知活動等の実施状況	回	実績	実績	目標	目標	A	A	非該当	A	A	A	B	区ホームページへの掲載や、「練馬区震災復興のあらし」(区民向けリーフレット)の配布等をした。	A	引き続き区ホームページの掲載、「練馬区震災復興マニュアルのあらし」(区民向けリーフレット)の配布により周知を行っていく。合わせて、周知・啓発方法を検討する。	B	都市計画課
						達成率	達成率														
			経費	投入経費	千円	2,057	1,907	1,907													
					上記のうち人件費	千円	1,600	1,760	1,760												
4	総合治水対策事務	練馬区の水害の軽減と防止を図り、区民の安全と財産を守るため	成果指標	雨水流出抑制施設により抑制された対策量(対策量/対策目標量)	㎡	実績	実績	目標	目標	A	A	該当	A	A	A	A	昨年度に総合治水計画を改訂し、目標の早期達成のため対策量を強化した。事業者の理解を得て雨水流出抑制施設が着実に推進されている。また、助成金による雨水浸透施設の設置も着実に増加している。	A	雨水流出抑制施設の必要性を継続的にPRしていくことが重要であるため、まちづくりの視点から引き続き効率的なPRを図り、区民意識の高揚を図る。また、区民の防災意識やエコ意識の高まりにあわせ、雨水タンクのPRも積極的に行う。	B	計画課
						達成率	達成率														
			経費	投入経費	千円	36,847	54,184	49,900													
					上記のうち人件費	千円	8,000	21,120	16,800												

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課
													成果	効率性	必要性	総合評価				
5	耐震化促進関連事務	耐震診断、実施設計および耐震改修工事に要する費用の一部を助成することにより、建築物の耐震性の向上を図り、災害に強いまちづくりを目指すため	成果指標	耐震改修工事等助成件数	件	実績	実績	目標	目標	ABC	B	非該当	AA	AA	A	AA	A	練馬区耐震改修促進計画に基づき、より多くの区民の方々に本制度を周知していく。 特に、特定緊急輸送道路沿道建築物に関しては、耐震診断の助成事業が本年度で終了するため、個別対応を徹底して年度内の全棟耐震診断完了を目指す。 こうした取り組みを通じて、民間建築物の耐震化率の向上を目指していく。	B	建築課
						達成率	達成率													
						335	400	245	184											
						173.6	200.0													
			経費	投入経費	千円	220,814	427,228	478,839												
上記のうち人件費	千円	16,000			25,120	39,280														
6	建築指導事務(定期報告)	建築基準法を遵守し、建築物等を適切に維持管理することによって未然に火災その他による事故の防止を図り、建築物等の利用者ならびに周囲の人の安全を確保するため。	成果指標	適正に報告された割合	件	実績	実績	目標	目標	D	B	非該当	C	A	A	A	-	法令を遵守し、定期報告の審査等を迅速かつ確実に行う。 未報告者に対して適時督促等を行う。	B	建築審査課
						達成率	達成率													
						5,440	6,083	7,000	6,800											
						80.1	79.0													
			経費	投入経費	千円	8,748	9,808	9,979												
上記のうち人件費	千円	6,400			6,640	6,640														

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課	
													成果	効率性	必要性	総合評価					総合評価理由
1	福祉のまちづくり関連事務(公共施設におけるユニバーサルデザインの推進)	区立の公共的建築物(都立等を含む)について、すべての人が安全かつ円滑に利用できるようにするため	成果指標	協議物件の「道から利用室までの経路」の整備率	%	実績	実績	目標	目標	A	B	該当	B	A	A	A	条例により地域特性に合わせた基準の強化を行ったことで、区立施設の新築等においては確実な整備が進んでいる。また、義務がかららない小規模な建築物においても、建築確認前に協議を行うことで着実な整備が進展している。 合わせて、意見聴取事業によるきめ細かい検討の結果、区立施設の整備向上に寄与している。	A	(建築確認前の事前協議書による指導・審査) ・審査・指導の業務効率向上のための手順書、逐条解説を作成する。 (意見聴取事業) ・他課との連携を深め、効果的なユーザーニーズ把握と情報共有を図る。	B	建築課
						達成率	達成率														
			68.0	68.7	75	80															
			97.0	91.6																	
経費	投入経費	千円	8,000	7,360	7,760																
			上記のうち人件費	千円	8,000	7,360	7,760														
2	福祉のまちづくり関連事務(中小規模店舗等の民間施設のユニバーサルデザインの誘導)	区内の民間公共的建築物について、すべての人が安全かつ円滑に利用できるようにするため	成果指標	協議物件の「道から利用室までの経路」の整備率	%	実績	実績	目標	目標	A	A	非該当	B	AA	A	A	条例により地域特性に合わせた基準の強化等を行ったことで、公共的建築物等の新築等においては確実な整備が進んでいる。また、義務のからない小規模な建物等においても、建築確認前に協議を行っていただくことで着実に整備が進展している。 既存建築物については、助成制度の活用件数が伸びており、バリアフリー整備が着実に進んでいる。	A	(建築確認前の事前協議書による指導・審査) ・審査・指導の業務効率向上のための手順書、逐条解説の作成する。 (既存建築物の改修助成) ・小規模な店舗、診療所等の改善促進のため、新たに簡易設備設置助成を行い、制度の一層の普及を図る。 ・より区民の生活に身近な施設の利便性を向上させるため、助成制度の効果的な運用について見直しを行う。	B	建築課
						達成率	達成率														
			68.0	72.1	75	75															
			97.0	96.1																	
経費	投入経費	千円	36,443	33,966	35,839																
			上記のうち人件費	千円	24,000	21,920	23,280														
3	交通施設整備計画推進事務(鉄道駅バリアフリー事業)	鉄道駅におけるバリアフリー施設の整備を促進するため	成果指標	鉄道駅におけるバリアフリー化を調整している駅	駅	実績	実績	目標	目標	AB	AB	非該当	A	A	A	A	区内すべての鉄道駅でバリアフリールートが1ルート確保されたが、区民からは、さらなるバリアフリー化についての要望がある。よって、鉄道駅のバリアフリー化について、鉄道事業者への働きかけなどを継続的に行っていく必要がある。	A	さらなるバリアフリー化に向けた鉄道事業者との協議を鋭意行っていく。	B	交通企画課
						達成率	達成率														
			2	3	3																
			100.0	150.0																	
経費	投入経費	千円	7,547	9,799	5,617																
			上記のうち人件費	千円	4,000	6,880	3,680														

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課	
													成果	効率性	必要性	総合評価					総合評価理由
1	大江戸線延伸推進事務	交通利便性の向上と都市基盤の充実を図るため	成果指標	大江戸線延伸に向けた活動状況		実績 達成率	実績 達成率	目標	目標	AB	B	該当	A	A	A	A	大江戸線の導入空間である補助230号線は全線で事業着手がされ、昨年は笹目通り(高松六丁目交差点)から土支田地蔵北交差点区間が交通開放されるなど延伸に向けた周辺環境は整いつつある。	A	促進大会を開催するなど、地域住民と一致団結して大江戸線延伸の早期実現に向けた取り組みを行っていく。	B	大江戸線延伸推進課
						関係機関への要請活動(3回)他	関係機関への要請活動(3回)他	延伸に向けた取組みの検討	延伸に向けた取組みの検討												
			経費	投入経費	千円	26,663	32,493	32,108													
				上記のうち人件費	千円	8,000	11,680	15,200													
2	交通施設整備計画推進事務(西武池袋線立体交差)	道路と鉄道との連続立体交差をおこなうことにより踏切を除却し、交通渋滞を解消するとともに踏切事故をなくし、分断されていた市街地の一体化を図るため。	成果指標	練馬高野台駅～石神井公園駅間の整備		実績 達成率	実績 達成率	目標	目標	AB	A	非該当	A	A	A	A	東京都(都市計画施行者)、西武鉄道(鉄道事業者)と協力して事業を進めている。25年度は一期区間の高架化を進めていく予定であり、事業は順調に進んでいる。	A	石神井公園駅～大泉学園駅間における高架化工事を円滑に進めるため、東京都や(株)西武鉄道と定期的な協議会を開催し、情報交換・共有化を引き続き務める。	B	計画課
						完了	完了	期下り線高架工事	事業完了												
			経費	投入経費	千円	633,323	398,153	273,460													
				上記のうち人件費	千円	8,000	10,000	8,320													
3	交通施設整備計画推進事務(西武新宿線立体化推進事業)	西武新宿線(井荻～東伏見間)を立体化することで、踏切による交通渋滞を解消し、歩行者や自転車、自動車等の移動の円滑化および安全確保等を図るため	成果指標	事業化推進に向けた調査研究および要請活動		実績 達成率	実績 達成率	目標	目標	AB	AB	非該当	A	A	A	A	着工に向けた準備として、まちづくりに関する調査研究など着実に前へ進んでいる。	A	関係機関と連携しながら検討を進めていく。	B	交通企画課
						公共施設の 詳細検討	都市基盤 施設の方 針検討	都市基盤 施設の基 本計画の 検討													
			経費	投入経費	千円	7,623	7,670	7,712													
				上記のうち人件費	千円	4,000	3,680	3,680													

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課			
												成果	効率性	必要性	総合評価					総合評価理由		
4	交通施設整備計画推進事務(イトライナー整備促進事業)	南北方向(環状方向)の交通利便性を高めるため	成果指標	中長期活動方針(イトライナー促進協議会にて策定)に基づいた活動状況		実績 達成率	実績 達成率	目標	目標	AB	AB	非該当	A	A	A	A	沿線6区で連携し、調査研究を行った。	A	沿線6区で活発な意見交換を行い、次期答申を見据え、効果的かつ効率的な促進活動を行っていく。	B	交通企画課	
					事業主体・課題解決に向けた検討他	課題解決に向けた検討他	課題解決に向けた検討他															
			経費	投入経費	千円	4,300	2,940	2,940														
			上記のうち人件費	千円	4,000	2,640	2,640															
5	交通施設整備計画推進事務(みどりバス事業)	公共交通空白地域の改善や、公共施設への利便性の向上などを図るため。	成果指標	年間バス利用者数		実績 達成率	実績 達成率	目標	目標	AB	C	非該当	A	A	A	A	公共交通空白地域の改善のため、路線の再編などの検討、関係機関との協議など、より良い事業の実施に向けて着実に取り組んでいる。	B	氷川台ルートの再編運行。	B	交通企画課	
					千人	853	886	923														
			%	101.2	100.3																	
			経費	投入経費	千円	163,940	156,396	193,987														
上記のうち人件費	千円	4,000	15,840	15,840																		
6	交通施設整備計画推進事務(練馬区地域公共交通会議)	鉄道や路線バスなど公共交通が不足している地域を改善するため	成果指標	公共交通空白地域の改善に向けた検討		実績 達成率	実績 達成率	目標	目標	A	A	非該当	A	A	A	A	関係機関との協議や地元調整には時間を要することもあるが、公共交通空白地域改善計画に基づき着実に改善を進めている。	B	氷川台ルートの再編運行の開始。 乗合タクシーの実証実験に向けた検討。	B	交通企画課	
					南大泉ルートを新規運行開始他	南大泉ルートの路線延伸運行開始他	氷川台ルートの再編他															
			%																			
			経費	投入経費	千円	16,202	7,060	8,744														
上記のうち人件費	千円	8,400	1,600	1,600																		

平成25年度 事務事業評価 施策別総括表 【施策番号:462 施策名:道路交通ネットワークを整備する】

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課		
												成果	効率性	必要性	総合評価					総合評価理由	
1	都市計画道路(主要幹線道路・幹線道路)の整備促進	都市計画道路の円滑かつ計画的な整備を進めるため	成果指標	都市計画道路(主要幹線道路・幹線道路)の事業化実績箇所数		実績 達成率	実績 達成率	目標	目標	A	A	非該当	A	A	A	A	都市計画道路の事業化が着実に図られており、都市の骨格となる主要な道路が整備されることによる、歩行者や自転車、自動車等の交通の円滑化や安全性の向上に向け進んでいる。	A	未整備の都市計画道路の整備促進に向けた調整。	B	交通企画課
				箇所	1	2															
			経費	投入経費	千円	1,920	4,080	6,691													
				上記のうち人件費	千円	1,920	4,080	3,200													
2	交通施設整備計画推進事務(外かく環状道路整備関連事業)	東京外かく環状道路(関越～東名)および外環の2(地上部街路)の整備を促進するため	成果指標	外環本線事業の推進に向けた関係機関、地元住民等との調整 外環上部利用に関する考え方の取りまとめに係る関係機関、地元住民等との調整	事業量	実績 達成率	実績 達成率	目標	目標	AB	A	非該当	A	A	A	A	国や都と緊密な連携を図るとともに、区民要望を踏まえた区としての働きかけを行うなどにより事業が着実に進捗している。	B	東京外かく環状道路(関越～東名)については、事業の進捗に伴う「対応の方針」の確実な履行や適切な情報提供を国等に求めていく。 外環の2(地上部街路)については、区としての今後の取組方針のとりまとめを行い、区の意見が十分反映されるように、都に働きかけていく。	B	交通企画課
				%																	
			経費	投入経費	千円	19,998	16,000	16,000													
				上記のうち人件費	千円	16,000	16,000	16,000													
3	都市整備用地取得事務	事業協力者に対して代替地として提供(売払い)することにより事業の円滑な進捗をはかるため	成果指標	売払いを行った管理用地	面積	実績 達成率	実績 達成率	目標	目標	D	B	非該当	A	B1	A	A	取得面積と売払い面積の比較についても概ねバランスがとれていて、良好な状況にあると言える。	-	引続き用地の売払い(処分)を適切に行うとともに、保有地の適正な管理に努める。	B	特定道路課
					m ²	441	431	247													
			%	109.4	109.1																
			経費	投入経費	千円	179,960	198,313	43,442													
上記のうち人件費	千円	8,000		4,400	1,680																
4	公共事業施行に伴う融資あっせん事務	移転資金等の融資あっせんや利子補給による事業協力者の移転促進や生活再建助成を通して道路整備事業の推進を図るため	成果指標	あっせん(利子補給)を行っている者が該当する路線のうち、事業計画どおりに進捗している路線	路線	実績 達成率	実績 達成率	目標	目標	D	A	非該当	A	A	A	A	低金利時代の近年こそ本事業へのニーズは少ないが、今後の経済状況の変化次第では、希望者が増加する可能性もある。	-	将来的な事務量の変化がつかめないため、的確な改善策は定められないが、増加・現状維持・減少の各パターンにおける事業のありかたを研究する。	B	特定道路課
					%	100.0	100.0														
			経費	投入経費	千円	832	899	923													
				上記のうち人件費	千円	800	880	880													

平成25年度 事務事業評価 施策別総括表 [施策番号:462 施策名:道路交通ネットワークを整備する]

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				総合評価理由	前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課
			成果	効率性									必要性	総合評価							
5	都市計画道路の整備(事業の実施)	交通機能を十分に確保しながら歩行者の安全を図り、併せて良好な住環境の形成をめざした街路整備を行うため	成果指標	取得した道路用地	m ²	実績	実績	目標	目標	AB	B	非該当	AA	B1	A	A	本事業については、必要性が高く、その効果も大きいことから、継続して計画的・効率的に進めていくことが求められている。平成24年度についても、国や都からの補助金を積極的に活用するなど財政面にも配慮したうえで、順調に事業進捗をはかっている。	A	今後事業化を目指している路線に関しては、どの分野で業務委託が有効に活用できるか検討するとともに、限られた人員のなかでこれまで蓄積された知識や経験を活かし適切な体制を整えたうえで取組む。	B	特定道路課
						達成率	達成率														
			経費	投入経費	千円	1,191,948	2,294,985	1,449,981													
					上記のうち人件費	千円	32,000	57,200	62,880												
6	公道化促進事務	私道の公道化と既存道路の拡幅を促進し、生活環境の整備を図るため	成果指標	申請を受け要件を備えた道路について区道の認定および区域変更の手続きを進めた割合	%	実績	実績	目標	目標	AB	B	非該当	A	A	A	A	区民要望の高い事業であり、作業を効率的に進めることにより着実な公道面積の増加がみられる。良好に進んでいるといえる。	A	公道化事業は、測量、図面作成手続きを要するものである。今後も、公道化に精通した職員の育成を図り、作業委託を活用して公道化の手続きを迅速にすすめ、地域に密着した道路の管理・整備の向上に努める。	B	管理課
						達成率	達成率	100	100												
			経費	投入経費	千円	155,607	141,309	147,834													
					上記のうち人件費	千円	67,200	58,480	58,320												
7	生活幹線道路の整備(事業の実施)	都市計画道路等の幹線道路を補完し、地区内から発生した交通を集め、幹線道路に導く(主要な路線として位置づけ、歩行者の安全確保や防災上の効果に配慮した道路づくりを推進するため)	成果指標	取得した道路用地	m ²	実績	実績	目標	目標	AB	B	非該当	C	C	A	B	本事業については、必要性が高く、その効果も大きいことから、継続して計画的・効率的に進めていくことが求められている。平成24年度についても、国・都からの補助金を積極的に活用するなど財政面にも配慮したうえで、順調に事業進捗をはかっている。	A	今後事業化を目指している路線に関しては、業務委託の積極的な活用も念頭におき、限られた人員のなか、適切な体制を整えたうえで取組む。	B	特定道路課
						達成率	達成率	345	338												
			経費	投入経費	千円	611,731	388,476	310,765													
					上記のうち人件費	千円	32,000	57,040	57,840												
8	主要生活道路の整備	区内の道路ネットワークを構成する生活幹線道路を補完し、地域内交通を処理するとともに、日常消防活動の向上をはかるため	成果指標	一定規模以上の開発事業の際に、道路後退の協力を依頼した件数のうち整備された割合	%	実績	実績	目標	目標	A	A	非該当	A	A	A	A	まちづくり条例の対象として位置づけることで、道路という都市基盤が着実に整備されており、実績が上がっている。	A	まちづくり条例において主要生活道路を計画基準として位置づけているので、当該条例で対象となる開発事業において引き続き道路幅員の実現を図る。今後策定する地区計画等によるまちづくりにより主要生活道路の整備を図る。	B	都市計画課
						達成率	達成率	100	100												
			経費	投入経費	千円	800	2,640	2,640													
					上記のうち人件費	千円	800	2,640	2,640												

平成25年度 事務事業評価 施策別総括表 [施策番号:463 施策名:快適な道路環境を整備する]

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				総合評価理由	前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課
													成果	効率性	必要性	総合評価					
1	交通安全施設整備事務(歩行者横断部改修)	安全で快適な歩行者空間を確保するとともに魅力あるまち並みを形成するため	成果指標	歩行者歩道横断部改良計画に基づく整備割合	箇所	実績	実績	目標	目標	AB	B	該当	A	A	A	A	成果・効率性・必要性のいずれの点から見ても良好である。	A	引き続き福祉のまちづくりサポーターを対象とした報告会やアンケートを活用し、意見を整備に反映する。 区職員による点検を実施する。	B	計画課
						達成率	達成率														
			経費	投入経費	千円	23,392	16,969	39,557													
					上記のうち人件費	千円	12,000	12,400	29,120												
2	自転車対策事務(自転車駐車場の整備および維持・管理、放置自転車対策)	駅周辺の道路等の通行障害となる通勤通学による放置自転車を解消し、歩行者・自転車・自動車の安全で円滑な通行と良好な生活環境の確保を図るため	成果指標	駐車場利用台数	台	実績	実績	目標	目標	AB	BD	非該当	B	B1	A	B	効率性においてややコストが高いが、自転車駐車場の恒久化のための一時的な投資であり必要な経費である。 必要性はA評価で、鉄道事業者など民間による事業も可能であるが、放置自転車の解消には不十分である。区では必要な自転車駐車場を整備するとともに、自転車駐車場の利用料金で維持、管理、運営を行っており、公正に事務事業が進められている。	A	午後の放置自転車対策を引き続き商店会等と協力し実施する。 自転車駐車場の建設に補助金等の導入をはかり区負担の軽減を図る。 整備した短時間無料設定の施設について、利用状況等を分析し、今後の施設整備に活かす。	B	交通安全課
						達成率	達成率														
			経費	投入経費	千円	986,446	1,485,593	1,990,759													
					上記のうち人件費	千円	48,000	61,200	56,720												
3	交通安全啓発関係事務(通学路点検等各種事業の実施)	交通安全意識の普及・啓発を図るため	成果指標	区内の交通事故件数	件	実績	実績	目標	目標	A	B	非該当	AA	A	A	AA	平成13年(暦年)の交通事故件数4,038件から、11年連続で事故件数は減少している。 また、24年(暦年)の交通事故減少件数は23区で1位となった。	A	通勤等自転車利用者に「正しいルールとマナー」を周知する事業を実施する。 1 自転車安全利用五則啓発幕の掲示 100組(5枚1組) 2 子どもの保護者を対象とした自転車安全利用の啓発 3 多くの区民を対象とした自転車安全教室の実施(スタントマンの事故再現による講習)	B	交通安全課
						達成率	達成率														
			経費	投入経費	千円	44,094	36,457	38,684													
					上記のうち人件費	千円	16,880	11,680	12,560												
4	道路新設改良事務	私道の公道化(区道の認定、区有通路の指定)と既存道路の拡幅にともなう道路整備を行うことにより、道路環境の向上を図るため。	成果指標	依頼箇所数に対する整備箇所数の割合	%	実績	実績	目標	目標	D	B	非該当	A	A	A	A	公道化や道路拡幅は、区民要望が高く、効率的に事業を進めることにより、区民が安全に通ることができる道路が増加した。本事業は良好に進んでいるといえる。	-	公道化や道路拡幅にともなう工事を実施するためには、地元区民や関連部署との調整、現場調査、設計など様々な業務を行う必要がある。このため、公道化等に精通した職員の育成を図るとともに、作業委託等も活用しながら、公道化等にともなう道路整備を実施し、道路環境の向上に努める。	B	管理課
						達成率	達成率														
			経費	投入経費	千円	322,670	322,699	336,264													
					上記のうち人件費	千円	28,000	46,880	48,880												

平成25年度 事務事業評価 施策別総括表 【施策番号:463 施策名:快適な道路環境を整備する】

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				総合評価理由	前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課
			成果	効率性									必要性	総合評価							
5	車両維持管理事務	部所管車両を適切に維持管理するとともに効率的な配車を行うことで、区内各所における道路、公園等の維持管理業務等を円滑に行うため	成果指標	稼働率(実稼働台数/稼働可能台数)	%	実績	実績	目標	目標	D	C	非該当	A	AA	A	AA	車両の需要は高く、低コスト、高効率で実施されている当事業は、効果的な土木部事業遂行のためには今後も必要である。	-	老朽化した区有車に代え低公害のリース車両を暫時導入することにより、車両故障や代車に係る経費の発生を抑えるなど、円滑な車両運行を図って行く。	B	管理課
						達成率	達成率														
			99	98	97	97															
			103.1	101.0																	
経費	投入経費	千円	95,834	83,349	109,648																
			上記のうち人件費	千円	4,000	3,200	3,200														
6	道路管理事務(公共用地管理区域図面の作成)	道路等の管理を適切に行うため、管理区域を確定し管理区域図を調製することで、管理する区域を明確にする。	成果指標	申請件数に対する確定件数の割合	%	実績	実績	目標	目標	D	B	非該当	A	A	A	A	管理区域の確定申請に応じて確定された区域、道路法により新たに道路となった区域の管理区域図を適切に作成することができている。	-	公共用地管理区域図の確定は、区の財産管理上だけでなく、区民の土地利用の際にも必要とされる。このような状況を踏まえ、今後も管理区域図の作成と関係資料の電子化を充実させていく。	B	管理課
						達成率	達成率														
			100	100																	
			100	100																	
経費	投入経費	千円	297,970	258,021	238,457																
			上記のうち人件費	千円	80,000	62,160	60,800														
7	橋梁新設改良事務	橋梁の適切な新設改良を行うことにより、区民が安心して通行できるようにするため	成果指標	橋梁改良事業に対する費用負担数	件	実績	実績	目標	目標	D	A	非該当	A	A	A	A	東京都の河川改修工事に併せて橋梁の架替を確実に実施している。	A	引き続き工事中の近隣住民対応を充分に行うよう、東京都に要望する。	B	計画課
						達成率	達成率														
			3	3	2																
			100.0	100.0																	
経費	投入経費	千円	54,044	138,774	46,922																
			上記のうち人件費	千円	8,000	4,160	5,040														
8	私道整備事務	私道の舗装や排水設備設置の助成により、区民の生活環境の向上を図るため	成果指標	私道整備助成の申請を請け整備した件数(実績件数/助成申請件数)	件	実績	実績	目標	目標	D	A	該当	A	A	A	A	私道の舗装や排水設備(下水)の設置は、私道整備助成制度により私道所有者の費用負担の軽減が図られている。助成の申請は、私道整備助成協力業者を活用して効率的に行われ、通行者の安全確保と生活環境の向上が図られている。	-	所在の不明な私道所有者の承諾の取り方を検討する。	B	計画課
						達成率	達成率														
			36	33	35	35															
			100.0	100.0																	
経費	投入経費	千円	92,599	117,724	112,920																
			上記のうち人件費	千円	8,000	7,920	7,920														

平成25年度 事務事業評価 施策別総括表 [施策番号:463 施策名:快適な道路環境を整備する]

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				総合評価理由	前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課
													成果	効率性	必要性	総合評価					
9	河川維持管理事務	河川の適切な維持管理により、区民生活の環境および公衆衛生の向上と区民の利便性を図るため	成果指標	河川の管理に必要な補修箇所に対し、施工実施箇所数の割合	%	実績 達成率	実績 達成率	目標	目標	D	B	非該当	A	A	A	A	継続的・計画的な維持補修が行われている。	-	日常の点検等により、計画的・継続的に維持補修等を行っていく。	B	計画課・道路公園課
				%	100	100	100														
			経費	投入経費	千円	71,720	58,064	105,934													
				上記のうち人件費	千円	8,000	19,520	18,320													
10	路面改良事務	道路舗装面等の工事を行い、安全、快適な道路状況を維持するため。	成果指標	安全・快適な道路状況を維持するため、路面改良工事を実施した箇所の面積	m ²	実績 達成率	実績 達成率	目標	目標	D	B	非該当	A	A	A	A	日々のパトロールや区民等からの要望を基に年間計画を立て、道路工事の必要な箇所に最大限対応できるよう取り組んでおり、効率的な成果をあげている。	-	他企業工事との事前調整により、効率的な工事施工に努め、安全、快適な道路状況を維持していく。	B	道路公園課
				%	100.0	100.0															
			経費	投入経費	千円	556,271	560,884	576,650													
				上記のうち人件費	千円	12,000	19,120	19,520													
11	土木出張所・庁舎管理事務および材料置場管理事務	施設の安全性および職場環境を整えるため。	成果指標	施設の保守・点検整備・清掃実施数	回	実績 達成率	実績 達成率	目標	目標	D	B	非該当	A	A	A	A	日常点検・定期点検は計画通りに行った。施設等の故障・破損も速やかに修理した。清掃業務を練馬区障害者雇用協議会に委託し、障害者の雇用を促進している。	-	施設の安全性および職場環境を整えるため、継続して清掃・点検を行う。	B	道路公園課
				%	100.0	100.0	105	105													
			経費	投入経費	千円	30,479	50,398	25,431													
				上記のうち人件費	千円	6,000	19,840	16,880													
12	道路不法看板等対策事務(不法占用)	道路等を根拠なしに占用している状況を回復し、安全、快適な道路状況を維持するため	成果指標	監察件数に対する対応件数の割合	%	実績 達成率	実績 達成率	目標	目標	D	A	非該当	A	A	A	A	不法占用物件に対し、速やかに対応し改善が図られ、道路等が安全快適に通行できるようになっている。	-	パトロール回数の増加等の手段により、不法占用物件の早期発見を行い、不法占用户者に対し適切な対応を行っていく。	B	道路公園課
				%	100	100	100	100													
			経費	投入経費	千円	28,154	72,579	73,856													
				上記のうち人件費	千円	28,000	72,080	73,280													

平成25年度 事務事業評価 施策別総括表 [施策番号:463 施策名:快適な道路環境を整備する]

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				総合評価理由	前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課
													成果	効率性	必要性	総合評価					
13	道路不法看板等対策事務(不法看板)	道路等に不法に掲出された看板を除去し、一般交通の支障をきたさないように現状回復するため	成果指標	発見枚数に対する除却枚数の割合	%	実績	実績	目標	目標	D	B	該当	A	A	A	A	違反広告物は除却から廃棄まで一連の流れに沿って事業は進んでおり、今後も継続して進めていく必要がある。	-	パトロール回数の増加等の手段により、不法占有物件の早期発見を行い、不法占有者に対し適切な対応を行って行く。 違反広告物除却協力団体を増やし協働事業の拡大に努める。	B	道路公園課
						達成率	達成率	100	100												
			経費	投入経費	千円	24,322	5,190	6,199													
					上記のうち人件費	千円	24,000	4,720	5,520												
14	街路灯維持事務	夜間あるいは、明るさの急変する場所において、良好な視覚環境を確保することにより、区民等が夜間に安全かつ快適に道路を通行できるようにするため。	成果指標	情報提供件数に対する補修件数の割合	%	実績	実績	目標	目標	D	B	非該当	A	A	A	A	街路灯係で管理している修繕履歴に基づく予防保全計画による修理と区民から提供された情報による修理とを組み合わせる適切な街路灯維持管理ができています。	-	修繕台帳の電子化に取り組み、作業効率を高める。	B	道路公園課
						達成率	達成率	100	100												
			経費	投入経費	千円	308,210	359,439	384,348													
					上記のうち人件費	千円	12,000	12,160	12,160												
15	街路灯新設改良事務(省エネ化は除く)	夜間あるいは、明るさの急変する場所において、良好な視覚環境を確保することにより、区民等が夜間に安全かつ快適に道路を通行できるようにするため。	成果指標	新設・改良実績数/新設・改良の必要箇所数	基	実績	実績	目標	目標	D	A	非該当	A	A	A	A	区民等の要望に対応し、区民等が夜間に安全かつ快適に道路を通行できるようにしている。	-	道路管理者として良好な視覚環境を確保するために、夜間現場調査なども実施し明るさの急変などを無くすようにきめ細かい対応をする。	B	道路公園課
						達成率	達成率	100.0	100.0												
			経費	投入経費	千円	57,623	56,319	55,199													
					上記のうち人件費	千円	16,000	16,240	16,240												
16	道路維持事務(緊急、小規模道路維持工事)	安全、快適な道路状況を維持するため。	成果指標	道路管理に必要な補修箇所数に対する補修工事実施箇所数の割合	%	実績	実績	目標	目標	A	B	非該当	A	A	A	A	日々のパトロールや区民等からの要望による、緊急に工事を必要とする箇所に対し速やかに工事を施工し、道路の維持が図られている。	A	日々のパトロールを強化し必要な補修箇所を早期に発見し、道路管理者として積極的な対応を行う。	B	道路公園課
						達成率	達成率	100	100												
			経費	投入経費	千円	1,156,554	902,668	925,824													
					上記のうち人件費	千円	12,000	136,240	128,720												

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				総合評価理由	前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課		
												成果	効率性	必要性	総合評価							
17	交通安全施設維持事務	区民等が安全、快適に道路を利用出来るようにするため。	成果指標	交通安全施設の管理に必要な補修箇所数に対する補修工事実施箇所数の割合	%	実績 達成率	実績 達成率	目標	目標	D	B	非該当	A	A	A	A	日々のパトロールや区民および所轄警察署等からの依頼のある補修が必要な箇所に対し、速やかに補修等を行い、交通安全施設の維持が図られている。	A	日々のパトロールを強化し必要な補修箇所を早期に見出し、道路管理者として積極的に対応を行う。	B	道路公園課	
				%	100	100	100	100														
			経費	投入経費	千円	85,665	88,797	105,258														
			上記のうち人件費	千円	8,000	14,800	15,200															
18	公共溝渠維持管理事務	適切な維持管理により、区民生活の環境および公衆衛生の向上と区民の利便性を図るため。	成果指標	公共溝渠の管理に必要な補修箇所数に対する補修工事実施箇所数の割合	%	実績 達成率	実績 達成率	目標	目標	D	B	非該当	A	A	A	A	日々のパトロールや区民等からの要望による、補修が必要な箇所に対し迅速な対応を行い、公共溝渠の維持が図られている。	A	日々のパトロールを強化し、必要な補修箇所を早期に見出し、管理者として積極的な対応を図る。	B	道路公園課	
				%	100	100	100	100														
			経費	投入経費	千円	14,333	24,186	27,284														
			上記のうち人件費	千円	3,200	13,520	14,000															
19	統合型地理情報システム整備事務	組織を横断した地図の複合利用を実現することで、業務の効率化・高度化、並びに区民サービスの向上を可能とするため	成果指標	システムで管理している情報の種類	件	実績 達成率	実績 達成率	目標	目標	D	B	非該当	A	A	A	A	業務支援のシステムとして、庁内の情報を地図上に記録し、視覚的に管理することが出来、地図を利用した資料の作成にも貢献している。利用率を向上させるために、地図を閲覧することに特化した簡易版GISの開発を行い、システムの利便性を高めた。	-	仮想化技術を活用した共通基盤への移行に向けて、関係各所と各種調整および検討を進める。	B	管理課	
				%	102.9	102.9	444	450														
			経費	投入経費	千円	27,850	24,100	39,443														
			上記のうち人件費	千円	10,400	4,960	8,240															
20	土木一般事務	区民生活の重要、不可欠な基盤である区道等を安全、確実に管理するため	成果指標	一般事務が複数あり、統一的な指標は作れないため、成果指標は設定しない	日	実績 達成率	実績 達成率	目標	目標	A	A	非該当	A	A	A	A	土木一般事務について、適切かつ効率的に事務を執行している。	A	法令に基づいた必要不可欠な事務のため、今後も継続していく。	B	管理課	
				%																		
			経費	投入経費	千円	189,354	68,196	74,003														
			上記のうち人件費	千円	156,000	32,960	37,520															

平成25年度 事務事業評価 施策別総括表 [施策番号:463 施策名:快適な道路環境を整備する]

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				総合評価理由	前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課
													成果	効率性	必要性	総合評価					
21	土木業務電算事務	土木業務の電算化による事務の効率化および高度化のため。	成果指標	システムの処理稼働率(処理運用時間/運用予定時間)	%	実績	実績	目標	目標	D	B	非該当	A	A	A	A	ICT(Information and Communication Technology)を活用した土木業務の効率化・高度化の推進に、効果をあげている。	-	仮想化技術を活用した共通基盤への移行に向けて、関係各所と各種調整および検討を進める。	B	管理課
						達成率	達成率														
			100	100	100	100															
			100	100																	
経費	投入経費	千円	27,506	24,446	26,330																
	上記のうち人件費	千円	5,600	3,280	4,080																
22	道路管理事務(道路台帳作成)	道路等の管理を適切に行うため、道路の認定、区域変更等に伴う現況の変化を台帳(調書、図面)に反映することで、管理する区域を明確にする。	成果指標	道路現況の変更に対する台帳補正の割合	%	実績	実績	目標	目標	D	B	非該当	A	A	A	A	道路法により新たに道路となった区域を適切に台帳に反映することができている。	-	道路台帳作成事務のうち、現況測量の一部については24年度からGNSS(GPS)測量の手法でコスト削減の取り組みを行っている。今後、GPS衛星の状況向上(国産衛星の充実)により高い効果が期待できる。	B	管理課
						達成率	達成率														
			100	100	100																
			100	100																	
経費	投入経費	千円	91,566	65,129	68,402																
	上記のうち人件費	千円	28,000	19,760	22,960																
23	道路管理事務(公共基準点保守)	測量の基礎(座標)となる公共基準点を適切に維持管理することで、道路管理、まちづくり事業から民間の土地登記などのあらゆる測量における精度の確保、効率化を実現する。	成果指標	基準点の変更に対する保守箇所割合	%	実績	実績	目標	目標	D	B	非該当	A	A	A	A	公共基準点は道路インフラの測量だけでなく、都市計画などのまちづくりや隣接地との数値座標の整合性を担保するため民間の不動産登記の際にも必要なものである。この仕組みを適正に維持し保守が継続されれば、将来的に大きな経費は必要とはならないが、逆に一旦保守が途切れることになれば、再構築には区レベルで億単位の経費がかかる。現状のコスト程度で通常の保守と欠落部分の再整備は可能であると考え。	-	亡失点復旧や震災時対応について、今後も技術的な検討を行いながら、コストと精度のバランスのとれた取り組みとして基準点網の維持を進めていく。	B	管理課
						達成率	達成率														
			100	100	100																
			100	100																	
経費	投入経費	千円	25,368	14,043	25,541																
	上記のうち人件費	千円	8,000	4,960	6,560																
24	交通安全施設整備事務(交差点局所改修)	交差点等の局所改修を行うことにより、歩行者の安全確保、車両交通の円滑化を図るため	成果指標	抽出した改修すべき交差点の整備箇所	箇所	実績	実績	目標	目標	D	B	非該当	A	B1	A	A	改修対象が局所であろうと、用地取得等その事務量は大きなものであり、限られた箇所数ではあるものの、毎年着実に成果をあげている。	-	改修要望の箇所は多いが、路線的に行っている通常の道路整備事業との事務量配分のバランスから限界もあり、優先順位をつけるなど今後の事務の進め方について検討する。	B	特定道路課
						達成率	達成率														
			1	1	1																
			50.0	100.0																	
経費	投入経費	千円	65,363	26,112	12,653																
	上記のうち人件費	千円	8,000	8,800	5,440																

平成25年度 事務事業評価 施策別総括表 [施策番号:463 施策名:快適な道路環境を整備する]

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課	
												成果	効率性	必要性	総合評価					総合評価理由
25	橋梁維持事務	橋梁の点検業務・維持補修を行い、区民等が安全かつ快適に橋梁を利用できるようにするため	成果指標 点検橋梁数と補修橋梁数。なお24年度は長寿命化修繕計画を策定する。	橋	実績 達成率	実績 達成率	目標	目標	A	B	非該当	A	A	A	A	当初の予定通りに橋梁の補修等に取り組むとともに、長寿命化修繕計画の策定により将来における補修等事業の見通しを立てたため	A	B	計画課、道路公園課	
					(補修)2 (点検)71	(補修)1・ (設計)1 (修繕計画策定等)	(補修)2	((修繕計画による補修設計)5												
			経費	投入経費	千円	48,477	35,835	14,090												
			上記のうち人件費	千円	4,000	18,480	13,040													
26	交通安全啓発関係事務(傷害保険)	交通事故被害を受けた区民の救済のため	成果指標 保険料収入	千円	実績 達成率	実績 達成率	目標	目標	A	B	非該当	B	A	A	B	事務の見直しによる経費削減の達成や加入者数も1万5千人を超える水準で推移しており、本制度は概ね良好に進んでいる。	B	B	交通安全課	
					%	102.7	95.6													
			経費	投入経費	千円	5,000	4,751	4,749												
			上記のうち人件費	千円	4,720	4,480	4,480													
27	自動車駐車場関係事務(整備・維持・管理)	路上駐車を原因とする交通渋滞や事故など道路機能の低下を解消するため	成果指標 公共駐車場の利用料金収入	千円	実績 達成率	実績 達成率	目標	目標	A	BD	非該当	B	B1	A	B	成果、効率性、必要性の全てにおいて評価が高い。指定管理者による管理運営は良好であり、利用料金収入の安定により区への収益納付が確実に行われている。	A	B	交通安全課	
					%	99.5	99.2													
			経費	投入経費	千円	276,232	295,724	299,312												
			上記のうち人件費	千円	8,800	14,640	10,800													

平成25年度 事務事業評価 施策別総括表

【施策番号:471 施策名:公共賃貸住宅を管理・運用する】

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課
													成果	効率性	必要性	総合評価				
1	区営住宅事務 (公的住宅の募集および相談事務)	住宅に困窮する低額所得の区民等が、適切に公的住宅の申込み手続きを行え、また、入居の機会を公平に提供できるようにするため。	成果指標	平均倍率の減少(世帯向区営住宅)	実績	実績	目標	目標	A	B	非該当	A	A	A	A	適切な募集案内および相談を行っている。	B	平均倍率の減少を図るため、既存住宅のペアリフォーム(3DKを単身者用2戸に改修する)を実施する。	B	住宅課
					達成率	達成率														
			倍	27	26	26	26													
			%	109.9	114.1															
経費	投入経費	千円	10,303	5,681	6,558															
		上記のうち人件費	千円	9,600	4,880	5,680														
2	区営住宅事務 (区営住宅管理事務)	区営住宅を適正に維持するため	成果指標	住宅使用料収納率	実績	実績	目標	目標	A	BD	非該当	B	A	A	A	高い収納率を維持しており、適正な入居者管理と住宅管理を行っている。	B	収納率100%を目指して、収納マニュアルの充実をしている。	B	住宅課
					達成率	達成率														
			%	98.6	98.6	100.0	100.0													
			%	99.6	99.6															
経費	投入経費	千円	221,547	249,838	231,389															
		上記のうち人件費	千円	24,000	24,320	29,360														

平成25年度 事務事業評価 施策別総括表

【施策番号:472 施策名:良質な住まいづくりを支援する】

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				総合評価理由	前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課	
													成果	効率性	必要性	総合評価						
1	住宅課一般事務(分譲マンションの適正な維持管理の支援・誘導)	分譲マンション管理組合や区分所有者に対して、必要な情報の提供とアドバイスを行い、自主的な問題解決を促進し、マンションの適正な管理の誘導を図るため。	成果指標	マンションセミナーおよび無料相談参加者数	実績	実績	目標	目標	A	A	該当	C	A	A	B	マンション管理士等の専門家の協力を得ながら、セミナーや相談事業を展開し、多くの区民の参加を得ている。今後はさらに参加者の拡大や情報提供の充実を図るとともに、大規模修繕や将来的には建替えにも対応していく必要がある。	B	管理組合登録制度の創設を検討し、区内分譲マンションに対する情報提供等の支援拡充に取り組む。また、公設掲示板でのポスター掲示や、新たな広報媒体の活用により、本事業のPRを拡大する。	A	住宅課		
					達成率	達成率																
			経費	投入経費	千円	千円	千円	千円														
					上記のうち人件費	千円	千円	千円														
2	住宅修築資金融資あっせん事務	住宅の修築に必要な資金の融資あっせんを行うことにより、住宅の維持と居住環境の向上を図るため。	成果指標	融資実行率	実績	実績	目標	目標	D	A	非該当	C	A	A	C	事業の問合せは多いものの、返済期限が70歳到達前であることなどから、実際の融資あっせん申込みに至る件数が少ない。金融機関が融資を行い、区はその利子補給のみを行うという、事業の仕組みそのものは決して悪くない制度であることから、手続きの簡素化等を検討し、実効性を高める必要がある。	-	区報掲載の回数増や区立施設でのチラシ配布など、より広く区民に周知する方策を検討し、実施する。他自治体の実施状況を把握し、より利用しやすい融資あっせん制度とするよう、事業内容の見直しを検討する。	B	住宅課		
					達成率	達成率																
			経費	投入経費	千円	千円	千円	千円														
					上記のうち人件費	千円	千円	千円														
3	住宅課一般事務(公的住宅の建替え協議)	公的住宅の建替えに併せて、道路、公園等の一体的整備による居住環境の調和を推進し、居住水準の向上を図るため	成果指標	本事業は建替えに関する協議が必要となった場合に実施するものであるため、実績のみ記載した。	実績	実績	目標	目標	A	A	非該当	A	A	A	A	住宅団地の建替えを通じて、住環境や福祉の向上などを含めた良好なまちづくりを進めている。今後も関係部課や地元住民との協議・調整を積極的に進める必要がある。	B	長期間にわたる建替え事業の進捗管理を行う。また、関係部課と協議・調整を進め、事業主体に対して、住環境や福祉の向上などを含めた良好なまちづくりが進展するよう要請する。	B	住宅課		
					達成率	達成率																
			経費	投入経費	千円	千円	千円	千円														
					上記のうち人件費	千円	千円	千円														
4	建築指導事務(優良住宅)	住宅政策上の視点から、税の軽減制度により、長期にわたり良好な状態で使用される措置が講じられた住宅の普及や一定の基準を満たす優良な住宅の供給を促進するため	成果指標	処理件数/申請件数	実績	実績	目標	目標	A	A	非該当	A	A	A	A	申請書類は全て迅速かつ正確に処理され、一定の基準を満たす優良な住宅供給を促進し、業務は良好に進んでいる。	A	都市施設、道路網計画、予想街路など、長期優良住宅の認定に必要な情報をひとつの地図にまとめ、情報を一元管理する事により、受付および審査に係る迅速性・正確性の向上を図る。	B	建築課		
					達成率	達成率																
			経費	投入経費	千円	千円	千円	千円														
					上記のうち人件費	千円	千円	千円														

平成25年度 事務事業評価 施策別総括表

【施策番号:473 施策名:だれもが安心して暮らせる住まいづくりを促進する】

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課	
													成果	効率性	必要性	総合評価					総合評価理由
1	高齢者住宅対策事務(優良居室提供・居住支援)	住宅に困窮する高齢者が住み慣れた地域で住み続けられるようするため。	成果指標	高齢者優良居室提供事業の入居対象者に対し、紹介した居室の入居割合	%	実績 達成率	実績 達成率	目標	目標	A	A	非該当	A	A	A	A	本事業の申込者は、例年、数多く、高齢者の住まい確保を支援するために、有益な事業として機能している。	A	入居期間が10年を迎える世帯へ、契約期限後の対応についてきめ細かな情報提供を行う。加えて、低所得の高齢者の住まい対策として、都市型軽費老人ホームの整備において対応していく。	B	高齢社会対策課、福祉事務所、総合
				投入経費	千円	44,541	43,260	45,890													
			上記のうち人件費	千円	2,400	2,480	3,680														
2	高齢者集合住宅管理事務	住宅に困窮する低所得の高齢者世帯に住宅を提供するため	成果指標	入居率(空き家修繕中は空き家とみなさない)	%	実績 達成率	実績 達成率	目標	目標	A	B	非該当	A	A	A	A	住宅に困窮する低所得の高齢者に住居を提供する本事業の必要性が高いこと、また、適正な入居者管理を行っていることなどから、良好に進んでいる。	B	・今後の高齢者集合住宅のあり方について、福祉部局と連携して検討する。	B	住宅課
				投入経費	千円	210,562	211,325	196,030													
			上記のうち人件費	千円	12,000	10,720	11,360														